

令和6年度 7月定例

教育委員会会議 議事録

令和6年(2024年)7月28日

吹田市教育委員会

令和6年度7月定例教育員会会議

開催日時	令和6年(2024年)7月28日 14時00分～18時25分
開催場所	吹田市総合防災センター(DRC Suita)8階 研究室A
出席委員	教 育 長 大江 慶博 教育長職務代理者 安達 友基子 委 員 福田 知弘 委 員 和田 光代 委 員 飴野 仁子 委 員 谷池 雅子
出席説明員	学 校 教 育 部 長 山下 栄治 教 育 監 植田 聡 学校教育部次長教育総務室長兼務 乾 裕 学校教育部次長学校教育室長兼務 角田 睦 学校教育室参事・指導主事 西 慎一郎 学校教育室主幹・指導主事 櫻井 仁之 学校教育室主幹・指導主事 速水 亮仁 学校教育室主幹・指導主事 松永 誠 学校教育室主幹・指導主事 加藤 弘靖 教育センター所長代理・指導主事 藤原 知宏 教育センター主幹・指導主事 小林 重信 教育センター主幹・指導主事 齋五澤 理陽 教育センター主幹・指導主事 富士谷 彩香

議事内容

○大江慶博教育長

ただいまから、7月定例教育委員会会議を開会いたします。

7月定例会議は本日と、7月30日の2日間にわたり開催いたします。

署名委員に安達職務代理者を指名いたします。

本日の傍聴席の数について事務局から説明してください。

○乾裕学校教育部次長教育総務室長兼務

本日の傍聴席設置可能数は50席で、現在の傍聴希望者数は36名となります。

○大江慶博教育長

それでは、本日の傍聴は50名まで許可したいと思いますが、いかがでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

では異議なしと認め、本日の傍聴は50名まで許可します。

－ 傍聴者着席 －

○大江慶博教育長

それでは、令和7年度使用教科用図書中学校用の採択に入ります前に、事務局から会議運営についての注意事項等について、説明をお願いします。

なお、円滑な議事進行のため、この説明を含め、事務局職員は着座にて説明・発言をお願いします。

○西慎一郎学校教育室参事・指導主事

教科書採択に当たりまして、会場での留意事項並びに注意事項を御説明いたします。教育委員の皆様には、各種目の教科書の見本をお手元

に御用意しておりますが、スムーズな議事進行のために、前方のスクリーンにおいても説明する教科書見本本の各ページを随時投影いたしますので、同時に御確認いただけます。また、傍聴される皆様も前方スクリーン及び部屋中央の各モニターで教科書見本本を御確認いただけますが、著作権法及び吹田市教育委員会会議規則第17条の規則に基づき、会場内での撮影及び録音は控えていただきますようお願いいたします。なお、疑義が生じた際には、保存されているデータの確認、データの消去、退室をお願いすることとなります。よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○大江慶博教育長

それでは、令和7年度使用教科用図書 中学校用の採択についての審議に入ります。

まずは事務局より、教科用図書の選定及び採択に関して全般的な説明をしてください。

○西慎一郎学校教育室参事・指導主事

令和7年度使用教科用図書選定及び採択の全体の流れについて、御説明申し上げます。選定につきましては、吹田市義務教育諸学校教科用図書選定委員会に対し、吹田市教育委員会より令和6年5月1日に諮問を行いました。選定委員会は、中学校の校長会・教頭会・中学校教育研究会、吹田市PTA協議会のそれぞれの御代表から構成される、教科書採択に係る附属機関でございます。

教育委員会からの諮問内容は、令和7年度使用教科用図書（中学校用）について種目ごとの調査結果を答申すること、令和7年度使用の「学校教育法」附則第9条に規定される教科用図書について、検討の上、意見を答申することでございます。

この諮問を受けまして、選定委員会は、それぞれの分野に調査員を置いて調査研究を行い、（1）公正な選定に努めること、（2）人権尊重の趣旨を基本的に踏まえること、に留意しながら、慎重に審議を重ね、7月8日に教育委員会へ答

申が提出されたところです。答申につきましては、令和7年度使用教科用図書の選定について(答申)を御覧ください。

学習指導要領の中では、育成を目指す資質・能力として、「何ができるようになるか」という観点が明確に示され、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの柱として整理されています。この3つの柱の要素を互いに関連させながら、子供たちがどのように学ぶのか、また、学んだことをどのように活用していくのか、といった「学びに向かう力」を育成していくことに重点が置かれています。

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、全ての教科で、3つの柱に基づく子供たちの学びを後押しし、社会に出てからも学校での学びを生かせるよう、「主体的、対話的で深い学び」の実現を目指し、各教科書発行者において改訂が行われております。

今回の採択においては、中学校の学習指導要領の改訂は行われておりませんが、現在一人一台のタブレット端末が導入されており、各教科書発行者はQRコードを記載するなど、デジタルコンテンツが以前よりも充実しております。

この後、種目ごとに担当から選定委員会の答申について説明を行い、質疑応答を経て、意見表明、採決となります。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第4項に基づき、出席者の過半数の賛成により決し、可否同数の時は教育長が裁定します。

以上でございます。

○大江慶博教育長

事務局からの教科書採択全般についての説明がありましたが、この件について何か御質問はございませんでしょうか。

○福田知弘委員

ありがとうございます。選定委員会から教育委員会に答申する際に、どのような観点到に留意されましたでしょうか、教えてください。

○西慎一郎学校教育室参事・指導主事

答申時には、目標・内容の取扱いについて、「内容の程度」、「組織・配列」、「人権の取扱い」について、また「学び方の工夫」、「補充的な学習・発展的な学習」についての5つの観点到に留意したとの報告がありました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○安達友基子教育長職務代理者

学校現場の先生方の意見がどのように反映されているか教えてください。

○西慎一郎学校教育室参事・指導主事

先生方の意見ですが、全種目において、校長・教頭・首席・指導教諭を含む、専門的な視点を持つ3名の教員を調査員として委嘱し、調査員は調査研究を進めてまいりました。また、教科用図書展示会を中学校6校で行い、調査員以外の教員につきましても、教科用図書を閲覧する機会を設けた上で、各種目につき各校1名ずつの参加者による意見交流会を行いました。その際の意見は調査活動の参考とさせていただきました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○和田光代委員

市民の方も教科書採択に関して興味があるかと思いますが、市民の方が教科書を見る機会をどのように保障されたのか教えてください。

○西慎一郎学校教育室参事・指導主事

令和6年5月31日から7月3日まで、教科書セ

ンターである DRC Suita にあります、吹田市立教育センター及び山田駅前図書館、さんくす図書館で展示を行いました。吹田市内の中学校6校においても閲覧できるようにし、これらの情報につきましては、吹田市のホームページ、市報で周知を図ってまいりました。

なお、一部の発行者の見本本につきましては、吹田市への提供冊数が限られていたり、本市の展示開始時期と見本本の到着時期が異なるため、展示期間内に全ての展示会場において、全ての見本本の展示を行うことはできませんでした。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○谷池雅子委員

市民や保護者の意見は例年集約されていると思っておりますが、どのような内容で何件ぐらいありましたでしょうか。

また、その意見は選定委員会で反映されましたでしょうか。

○西慎一郎学校教育室参事・指導主事

市民からの意見書集約を御覧ください。先ほど申し上げました市内9か所において、自由記述形式で意見箱による集約を行い、合計319件の御意見をいただきました。種目につきましては、社会、歴史的分野・公民的分野及び特別の教科道徳について、多くの意見をいただきました。

内容につきましては、各教科書に対する御意見をいただきました。また、多様性、人権、平和を尊重している教科書を採択してほしいや、生徒自ら人と意見を交わし、自分の意見を持ってほしいといった御意見、市民や保護者、教員の意見を尊重して選んでほしいとの意見もいただきました。意見書につきましては、選定委員会に資料として提示しております。また、選定委員会の委員の中には、保護者代表として、吹田市PTA協議会の

方がおられ、保護者の視点で、それぞれの教科書に対しての意見を交換し、選定を進めてまいりました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○飴野仁子委員

要望書について教えてください。

○西慎一郎学校教育室参事・指導主事

要望書資料を御覧ください。要望書につきましては、質問書も含めて7件ありました。内容につきましては、教員及び保護者・地域の住民の声を反映するように、また開かれた採択、公平な採択、人権・平和・共生等、日本国憲法を尊重した採択を要望するなどの意見がありました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

ほかに教科書採択全般に関わって、何か御質問はございませんか、よろしいでしょうか。

それでは、議案審議に入ります前に、本日の議事運営について、改めて私から御説明をいたします。

この後、議案審議に入りましたら、まず担当指導主事より選定委員会からの答申について説明を受けたいと思います。それに関わって質疑応答の後に、委員お1人ずつ意見を表明していただきます。各委員からの意見を踏まえ、採決を行います。そのような運営で進めてまいります。

それでは、日程第1、議案第44号「吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 国語の採択について」、審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○櫻井仁之学校教育室主幹・指導主事

別表1-1、令和7年度使用教科用図書中学校用国語の選定具申を発行者順に説明します

ので、よろしくお願いします。

4社とも、1年生の教科書を御準備ください。初めに、「東京書籍」につきまして御説明申し上げます。「東京書籍」は3年間にわたり、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の教材がバランスよく、系統的に配置されています。学習が発展しながら積み上がることで、生徒自身が学びの深まりを実感できるよう工夫されています。

204ページ下段を御覧ください。各教材の学習のポイントを「言葉の力」として明示し、つけたい力が着実に定着するよう工夫されています。こちらは、ほかの3社も扱っている「少年の日の思い出」という小説に関する「言葉の力」です。このように、作品を読み深めるためのポイントを図解も含めて解説しているのが「言葉の力」でございます。また、QRコンテンツが充実しており、「授業の導入」、「学習活動の助け」、「学力の定着」、「より深い学び」と、4つの場面に焦点を分け学ぶことができるよう工夫されています。ちなみに、今開いていただいているページの右下にあるQRコードを開くと、QRコード下に書かれている2つのコンテンツに作者紹介の動画を加えた、3つのコンテンツにアクセスできるようになっております。

次に、「三省堂」につきまして御説明申し上げます。16ページから20ページを御覧ください。三省堂では、3学年全ての教科書の巻頭に、言葉による見方、考え方を働かせ、情報と情報との関係を捉えたり、考えを整理したり深めたりする方法を「思考の方法」として示しています。3年間を通して、9種類の「思考の方法」がバランスよく配置されており、各教材の学習活動の文脈に沿って活用できるよう工夫されています。36ページを御覧ください。各学年の第1単元に「グループディスカッション」を位置づけ、話し合いの方法を3年間かけて段階的に学習することにより、話し合いの質を高める工夫がされています。

148ページを御覧ください。急激な社会の変化がもたらす現代の課題やSDGsに、社会の構成員として粘り強く取り組む姿勢を養い、積極的に問題解決に当たるために、対話や合意形成な

どの具体的方法を学ぶことができる教材を配列しています。1年生の教科書ですと、今見ていただいているページから続く防災教育に関する教材に加え、国際理解・異文化理解や金融教育につながる教材などがございます。

次に、「教育出版」につきまして御説明申し上げます。24ページを御覧ください。教育出版では、教材の学習に入る前に「学びナビ」が配置され、読み方や観点、内容を正確に把握するための方法などが提示されることで、生徒が見通しをもって学ぶことができるよう工夫されています。ここでは、26ページから始まる「桜蝶」という小説を読む前に、幾つかの文章を例に、「視点」について学べるようになっております。

192ページを御覧ください。「学びのチャレンジ」では、全国学力・学習状況調査やPISAなどを踏まえ、これからの社会で求められる力を育成する問題を掲載し、文字以外の情報と文書を関連づけて考える力を養うことができます。

80ページを御覧ください。SDGs教材「持続可能な未来を創るために」が全学年に設置され、生徒が社会や日常生活の中から課題を見だし、解決のために自ら問いを持ち、考えを深められるよう工夫されています。

最後に、「光村図書出版」につきまして御説明申し上げます。224ページを御覧ください。「光村図書出版」では、親しみやすい有名漫画家の随筆や、中学生に人気の作家による書き下ろし教材など、生徒が興味関心を引く作品を取り上げています。今御覧いただいているのは、「ちびまる子ちゃん」の作者、さくらももこさんの随筆でございます。

78ページを御覧ください。特設「情報×SDGs」は、持続可能な社会の創り手を育むため、情報活用能力を養いながら、現代的な諸課題について主体的に考えられる内容になっています。

152ページを御覧ください。古典教材は、主な古典作品を見渡し、その多様性を感じられる「古典の世界」を1年次に配置したり、図面を用いたコラムや地図等の資料が充実しており、生徒がなじみやすいよう工夫されています。

国語については、以上でございます。

○大江慶博教育長

それでは、審議に入ります。

御質問・御意見はございませんか。

○福田知弘委員

読むことの領域に取り上げられている教材につきまして、生徒の学意意欲が高まるような工夫は各社でどのようになされていますか。教えてください。

○櫻井仁之学校教育室主幹・指導主事

各社様々工夫されていますが、「三省堂」は現場の先生方から読む意欲を喚起する魅力的な教材が豊富に取り上げられており、主体的な学習を促すことが期待できるとの意見がありました。

また、「光村図書出版」では、受け継がれる名作に加え、生徒から人気の高い作家の書き下ろし作品を配列しているのが特徴的でございます。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○和田光代委員

国語科のみならず、他教科や日常生活の中で活用できるような教材の工夫等について、どのようになっているか教えてもらえますか。

○櫻井仁之学校教育室主幹・指導主事

「東京書籍」は、国語の学習を通して未来を考えるための9つのテーマを設け、3領域の学習でテーマについて認識を深めながら、未来について様々な視点から考えられるよう工夫されているのが特徴的でございます。

現場の先生との意見交流会において、「三省堂」の思考方法及びグループディスカッションは、自ら問いを持ち、課題を解決する力や、対話を中

心とした協働的な学びにより、互いの考えを深める力を高めることができるよう工夫されているとの意見が多数ありました。

以上です。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○安達友基子教育長職務代理者

読書活動の充実という視点から、読書であるとか本の紹介について取り扱われているものを教えてください。

○櫻井仁之学校教育室主幹・指導主事

「光村図書出版」では、巻末の広がる図書という読書教材内の本の世界を広げようで、447冊に上る図書が表紙つきで紹介され、生徒の読書意欲を喚起する内容になっています。

また、「東京書籍」の読書への招待では、アニメーションや映画等を含めた読書案内が充実しており、様々な読書の在り方を提示することで、生徒が本に手を伸ばすきっかけを生み出すよう工夫されています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○飴野仁子委員

語彙を豊かにするという、そういう観点から特徴的な内容でありますとか、工夫について教えてください。

○櫻井仁之学校教育室主幹・指導主事

「光村図書出版」は、たくさんの言葉に出会い、自分の思考や感情を的確に言語化するための語彙ブックという教材を全学年に用意しております。

また、「三省堂」では、各単元に「語彙を豊か

に」を設け、教材の言葉をきっかけに多様な視点から語彙を広げ、五感が磨かれるよう工夫されています。

○大江慶博教育長

よろしいですか、ほかにありますか。

○谷池雅子委員

特別支援教育についての配慮や工夫について、各発行者がどうなっているか教えてください。

○櫻井仁之学校教育室主幹・指導主事

特別支援教育については、全ての発行者において書体、レイアウト、改行などについて工夫されていますが、現場の先生方との意見交流会では、「三省堂」の教科書の文字の大きさ、書体の使い分け、行間、字間のレイアウトや図解を多く用いて視覚的に内容を捉えられるなどの配慮が特別支援の必要な生徒ももちろんですけれども、それに加えて国語を苦手と感じている生徒への配慮にもつながるとの意見がございました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかにありませんか。

私からも2点お尋ねをします。1つは、小学校での学びとの関連について、何か工夫をされているところがあるかという点と、あとは家庭学習であるとか自学自習についての配慮、そういったもので特徴的なことがあれば教えてください。

○櫻井仁之学校教育室主幹・指導主事

1点目の小学校の学習内容との関連についてですが、「教育出版」では1年の入門期、領域ごとに学びをスモールステップ化するなど、生徒の発達段階や言語環境に配慮しながら教材が配置されています。

また、「三省堂」では、第1単元を学級開きにふさわしい教材配列にしたり、小学校の学習内容を確認できる説明文を確認してから次のステ

ップへ進むなど、中1ギャップへの配慮がなされています。

次に質問いただきました家庭学習についてですが、各社QRコンテンツを中心に家庭学習、自学自習への様々な配慮がされています。先ほど御説明いたしました「東京書籍」は、現場の先生方から家庭学習の補助として期待できるとの意見がありました。

また、「三省堂」では、QRコードの参照先サイトに500点以上のコンテンツを掲載しており、その中のデジタルドリルでは、漢字や文法の基礎・基本の確実な習得等ができるよう工夫されており、自学自習にも対応しております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

分かりました。

ほかに何か御質問はございませんか。

では、質問が出尽くしたようですので、国語についての審議を終了いたします。

それでは、議案第44号、吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 国語の採択について、各委員の御意見をお願いいたします。

安達職務代理者よりお願いいたします。

○安達友基子教育長職務代理者

全般的な私の所感として、教科書が参考書であったり最近解説本のようにになっているなということに少し懸念を持っています。教科書に何を求めるかということにもよるので、それが少しずつ変わってきているということかもしれませんが、個人的には読書に誘う本の紹介であったりとか、教科書自体で名作と出会うとか、そういうことを大事にしてほしいなという気持ちがあります。これは個人的な経験談ですけど、中学3年生のときに教科書で新川和江さんという方の詩を習ったのですけど、その詩がすごく大好きで、私は今でも暗唱できるし、時々思い出してはすごく元気もらっているという教科書での出会いだったのですけど、すごく自分の人生を豊かにしてもらったという経験があります。そういったこともあるんだとい

う気持ちで教科書会社の皆さんには教材の選定をしていただきたいなと思っています。

そういったことから、私としては「光村図書出版」さんがいいなと思いました。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

では続いて、飴野委員、お願いします。

○飴野仁子委員

並外れてどこかの出版社がということではないのですけれども、私は「三省堂」は全体として見やすいなということを思いました。最近のアーティストの「YOASOBI」の曲が取り入れられているとか、そういう意味で今の子供たちにそういう視点から言葉というか、国語に切り込んでいるという点は評価しているのです。ですが、私も「光村図書出版」を推したいと思っています。理由はやはりこの表現の豊かさを味わったり、生き方を考えるという上で今でもこういう姿勢を貫いておられるんだなということを思いました。偶然安達職務代理者と同じですが、新川和江さんの「わたしを束ねないで」は、生きてきた中でくじけそうになったときとか、今でも思い出される詩で、私も小学生だったか中学生だったか忘れましたが、教科書にあった詩でした。この詩が例えばですけど、今女性活躍やジェンダーフリーなどの中で古くて新しいというか、やはり世の中に問うていることというのの普遍性でもあって、そんなことをやはりずっと吹田の子供たちにも考えていってほしいという意味で「光村図書出版」を私も推します。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございました。

では続いて、谷池委員、お願いします。

○谷池雅子委員

まず私の選定の姿勢というのをお伝えしておこうと思います。学校をいろいろと訪問しまして、やはり学校の先生から教科書が変わったときの準

備が結構大変だという話は伺っています。したがって、複数の教科書でそんなに優劣の差が目立たないときは、やはり従来使っている教科書にちょっと重きを置くような選定になっているということを御理解ください。

その上で私も両委員がおっしゃったように「光村図書出版」と非常に悩みました。安達委員がおっしゃったように、ちょっと内容的に美しい日本語を教えるというか、名作系が少ないなと思っていて、グラフの読み方を口で読ませるみたいなこと以上に必要な、そういう気がしまして、「光村図書出版」はそういう点で古典をまとめているセクションがあったり、前のお大阪大学の総長である鷲田先生が書いていらっしゃるコラムが載っていたり、内容はちょっと魅力的だなという気がしました。非常に悩んだのですが、結果として先ほど申し上げましたような点もちょっとポイントに入っているのですけど、「三省堂」を推します。その理由としまして、単に従来使っているというだけではなく、1つはグループディスカッションというまとまりをかなり強調しているのですけれども、それが協働的な学びという今のトレンドというか、こうしないといけないというのを明確に出して、これを使って授業がしやすいだろうなと思ったことが1点。

それと先ほど御質問をしましたけれども、支援が必要な子供への配慮はやはり「三省堂」が一番しっかりとしているのかなというのが2点目でございます。

というようなことで、私は「三省堂」を推します。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございました。

では和田委員、お願いします。

○和田光代委員

私は「三省堂」がよいと思います。その理由としましては、御説明にもありましたように、考えるとは具体的にはどういうことなのかというところで、思考の方法を挙げられています。これが大変視覚的に分かりやすく示してあるということと、あと

は読み方を学ぼうというのが設けてあるのですが、これは文章を正確に読み解き、深く味わうための技やコツなどが書いてあります。それは3年間出てくるのですが、この巻末に3年生だったら、2年生・1年生で習ったことも書いてありました。それを復習しながら読んでいくというところで、非常にいいのではないかなというふうに思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

福田委員、お願いします。

○福田知弘委員

私は「三省堂」を推したいと思います。まず、各学年の最初に思考の方法というマップがあって、その初めに「問うこと」から始めようというところが思考、考えるということにつながってくることかなと思います。

それから文学的な作品もそうですが、科学的、また論理的な思考を養う教材、それがしっかりと用意されているということと、それから序盤に平易な文章が用意されていたりとか、配色とか画像の挿入・配置、このあたりもしっかりと考えられているなということで、「三省堂」を推したいと思います。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

私も「三省堂」を推したいと思います。主たる教材である教科用図書に生徒が興味・関心を持つような要素、あるいは視点を盛り込むという点で最も優れていると考え、評価しております。装丁もすばらしく、挿絵や資料が豊富で協働的な学びを3年間かけて積み上げていくような工夫もあり、自学自習の手引きも随所に認められました。挿絵や資料を多く採用している影響からか、他の発行者と比較すると本文の文字のフォントが少し小さいというふうに感じられましたが、ICTの

活用など、授業スタイルの変革を進めている本市においては問題ないものを考えます。

以上です。

○大江慶博教育長

それでは、国語につきましては、皆様の御意見として「三省堂」が4名、「光村図書出版」が2名ということでした。

「三省堂」を採択するということに御異議はございませんでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

では、異議なしと認めます。

議案第44号吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用の国語の採択につきましては、「三省堂」を採択することといたします。

○飴野仁子委員

今の採択とは別で、教科書の件で、教科書って今国語は縦書きで書かれているのですけれども、実際に今は横書きでワープロ等で作成する文章なんかもありますので、今後国語の教科書を作られるとき、もし出版社等の方がいらっしゃったら、縦書きの書き方であったり横書きの書き方だったり、そういったことも丁寧に教えられるような教材があるといいのかなというようなことを思いました。私の職場で学生たちを見ていると、レポートの書き方の中でとんでもないことが起きているので、そんなことを強く感じた次第です。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。整理をさせていただいて、議案第44号、吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 国語の採択につきましては、「三省堂」を採択することといたします。

では次に進みます。続いて日程第2、議案第45号「吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 書写の採択について」審議及び採択を

行います。

事務局の説明を求めます。

○加藤弘靖学校教育室主幹・指導主事

それでは、「別表1-2 令和7年度使用教科用図書中学校用書写」の選定具申を発行者順に御説明しますので、よろしくお願いします。

まずは、「東京書籍」について御説明させていただきます。教科書の48、49ページを御覧ください。「東京書籍」では、全学年において楷書、行書、効果的な書き方など、各学年における学習のポイントを焦点化した「書写のかぎ」が配置されており、既習事項を確認しながら系統的かつ効果的・効率的に書写の学習を進めることができるようになっております。

また、28、29ページを御覧ください。「東京書籍」では、毛筆の学習において、「見つけよう」というところで硬筆で字形を学習し、「確かめよう」において毛筆の練習をした上で、最後に「生かそう」にて硬筆で他の文字を書くことを通して、定着を図る単元構成となっており、毛筆での学習が硬筆で書く力の基礎となるように構成されています。

最後に巻末にございます「書写活用ブック」を御覧ください。「書写活用ブック」では、手紙やポスター、入学願書等の中学生の日常を考慮した内容となっており、生徒が目的に応じて活用できるようになっておりました。

続きまして、「三省堂」について御説明させていただきます。まず、教科書の6ページからの「学習のはじめに」、また、86ページの「書の古典」を御覧ください。「三省堂」では、小学校「書写」の既習事項の復習や高等学校「書道」へ向けた発展的な内容にも触れるなど、体系的に学習を進めることができるように構成されていました。また、各学年の最後には、グループで取り組む課題が設定されており、他者と協働しながら今までの学習を生かして取り組むことができるような工夫がされております。

最後に、巻末104ページを御覧ください。「三省堂」では、教科書の巻末に「二次元コード一覧

表」を設けており、コンテンツ一覧から各学年の解説動画や補充教材等に即座にアクセスすることができるようになっておりました。

続きまして、「教育出版」について御説明させていただきます。教科書の100ページを御覧ください。「教育出版」では、第3学年の「多様な表現による文字」において、標識や看板などを取り上げ、現代社会における書写の活用場面や文字の表現効果を考えることができるようにしておりました。

また、教科書の10ページを御覧ください。こちらにありますとおり、「教育出版」では、各単位において系統的・段階的に学習が進められるように工夫されており、基礎・基本の習得がしやすい配列となっているとともに、日常生活や学習生活で書写の学びを生かす場面が多く設定されておりました。

最後に、「光村図書出版」について御説明させていただきます。教科書の54、55ページを御覧ください。「光村図書出版」では、全ての教材に「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3つのステップを示されており、知識・技能の習得と活用を繰り返しながら、新しい学びも加えられるように工夫され、生徒の発達段階に沿うような配列になっておりました。

また、109ページからの「日常に役立つ書式」を御覧ください。「光村図書出版」では、「日常に役立つ書式」として、手紙やはがき、入学願書などの書き方がまとめられており、学んだことをアウトプットできる機会が盛り込まれておりました。

さらに、別冊として、巻頭に取り外して使用することができる「書写ブック」を設けており、教科書と併せての学習や他教科の学習に活用することができておりました。

書写については、以上でございます。

○大江慶博教育長

説明が終わりました。

それでは、審議に入ります。御質問、あるいは御意見はございますか。

○安達友基子教育長職務代理者

生徒さんが伝統的な文字文化に触れたり、効果的に文字を書くということについて、特徴的なことがある出版社がありましたら教えてください。

○加藤弘靖学校教育室主幹・指導主事

「東京書籍」では、「文字といっしょに」というコラムがあります。また、「教育出版」におきましても、各学年にコラムが設定されておりまして、文字文化への興味を喚起するためのコラムのようなものが設けられておりました。

また、伝統的な文字文化である書き初めについては各発行者全て扱っておりますが、「光村図書出版」におきましては、「書き初めマスターブック」というものが設けられておりました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに質問はありますか。

○福田知弘委員

ありがとうございます。教科書を使用する現場の先生方の御意見は各発行者でどのようなものがございましたか。

○加藤弘靖学校教育室主幹・指導主事

現場の先生方の意見として、お伝えさせていただきます。「東京書籍」につきましては、「情報量が多く、カラフルなので、興味を持っている生徒にとっては見やすいのではないか」、「内容が充実しており、基本的な内容について学習することができる」などの意見がありました。

次に、「三省堂」につきましては、「資料編がよかった」、「硬筆はシンプルで書きやすい」などの意見がありました。

「教育出版」につきましては、「楷書と行書が分かりやすく比較され、授業で使いやすい」、「硬筆で生かせるページが多く、活用しやすい」などの意見がございました。

最後に「光村図書出版」では、「別冊の書写

ブックが使いやすい」、「見本が大きく、実際の半紙のサイズになるので、学校の机には大きいが自宅で使う場合はよいのではないか」のような意見がございました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○谷池雅子委員

QR コンテンツについてですけど、各発行者でどのような工夫をされておられますか。

○加藤弘靖学校教育室主幹・指導主事

QR コンテンツにつきましては、全ての発行者で掲載がございました。先ほど説明させていただいたところ以外で伝えさせていただきますと、まず、「東京書籍」では、説明がある場合、それを字幕で表示するかどうか選択できるようなものがございました。また、書きながらポイントを説明している動画も配置されておりました。

次に、「教育出版」では、「まなびリンク」において1時間の授業展開がショート動画で確認できるようになっており、授業の流れが分かるようになっておりました。

また、「光村図書出版」では、動画の最後に「振り返ろう」というものを設定し、学習のポイントの確認などが行うような動画も配置されておりました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○飴野仁子委員

楷書と行書ですけども、目的に応じた使い分けについての工夫というのは、どのようになっておりますか、教えてください。

○加藤弘靖学校教育室主幹・指導主事

まず「東京書籍」では、62、63ページを御覧いただいてもよろしいでしょうか。こちらにございますように、実際に「楷書」と「行書」で書かれたものを比較することで検討できるような工夫がされております。

また、「三省堂」につきましても同じく、62、63ページを御覧いただければと思います。「三省堂」につきましてもそれぞれの場面で「楷書」と「行書」の選択について考えた上で、実際に選択した書体で書いてみる、そして確かめるというような工夫がされておりました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○和田光代委員

毛筆と硬筆での学習の関連づけについて、各発行者でどのように取り扱っているか教えてもらえますか。

○加藤弘靖学校教育室主幹・指導主事

先ほど御説明させていただきました、「東京書籍」についてはお伝えさせていただいたとおりとなっております。

また、「教育出版」、「光村図書出版」におきましても、1つの教材の中で毛筆での学びを硬筆に生かすような構成となっており、1つの教材で毛筆と硬筆の学習の関連づけを行うことができるようになっておりました。

また、「三省堂」につきましても、「書いて身に着けよう」というコーナーを設けておりまして、その中で毛筆での学びを硬筆に生かして文字を書くページが設けられておりました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

では私からも1点、先ほど国語のときにもお尋

ねしましたが、小学校の書写の学びとの接続について、各社どのような工夫、あるいは配慮をされていますか。

○加藤弘靖学校教育室主幹・指導主事

小学校の書写との接続につきましては、「東京書籍」におきまして、「これまで学んできたこと」、そして「三省堂」におきましても「学習のはじめに」、「光村図書出版」では、「中学書写スタートブック」というものを設けておりまして、それぞれ小学校での学びを振り返ることができるような工夫が特にされておりました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

ほかに何か御質問はありますか。

では、質問が出尽くしたようですので、書写についての審議を終了いたします。

それでは、議案第45号、吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 書写の採択について、各委員の御意見をお願いしたいと思います。

飴野委員からお願いできますか。

○飴野仁子委員

どの教科書もいろいろと工夫が見られたのですが、「東京書籍」を推します。

以上です。

○大江慶博教育長

では続いて、谷池委員、お願いします。

○谷池雅子委員

私は「光村図書出版」を推します。その理由は、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3つのステップが示されていて分かりやすいということ、そして書写ブックの使い勝手がよさそうなこと。さらに、QR コンテンツのアプローチの仕方では、「三省堂」をはじめとして、まとめて一覧表にというのと、「光村図書出版」のようにおのおののページにQRコードが示されている、2つがあると思いま

すけど、子供の自学から考えますと恐らく適宜対応するところにQRコンテンツを貼っているほうが使いやすいのかなと、そういう細かい配慮を考へまして、私は「光村図書出版」を推します。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

続いて、和田委員、お願いします。

○和田光代委員

私は「東京書籍」を推したいと思います。その理由としましては、学習ポイントの「書写のかぎ」というところがあるのですが、これが非常に分かりやすく、授業の中でポイントを押さえながら学習を進めていけるということと、学習の流れとして硬筆でまず取り組んで、その後毛筆、またほかの文字で硬筆という流れになっています。ですので文字を硬筆で押さえながら学習できるということがいいのではないかなというふうに思います。

あともう一つは、この見本というのですかね、毛筆のときに教科書を縦にすることなく横のまま見本があるので、教科書を縦にしたり横にしたりという机のスペースが限られていますので、その煩わしさがなくていいのかなというふうに思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

続いて福田委員、お願いします。

○福田知弘委員

私は「東京書籍」を推したいと思います。実技を伴う科目だと思えますけども、各単元で目標と振り返ろう、これが適切に設計されているということ、それによって主体的に生徒さんが学べるようになっていないかということと、それから文字文化を学べるとともに、身近な生活に伝わるような構成になっているということ、それから最後、先ほど御質問させていただいたとおり、現場

の先生方の御意見からも比較的にポジティブな意見があったということが推しの理由になります。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

安達職務代理者、お願いします。

○安達友基子教育長職務代理者

私は書写に関しては「東京書籍」がいいと思いました。今子供たちって字をきれいに書こうと思うような機会がどんどん減っていて、タブレットを使って学校でも学習していることもあって、何かを発表するというときでもパワーポイントを使って発表してしまったりと、字を書いているということが減っていると思うのですね。そんな中で「東京書籍」の書写活用ブックの中で入学願書があったり、ちょっとでも子供たちが自分事として字をきれいに書けないと困るときもあるんだなということを認識するきっかけになってくれてもいいかなというふうに思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

私は「東京書籍」が一番いいかと思います。1ページに収まっている説明文や説明図がとても多く、手本のページや関連する資料等の量的なバランスもよく取れている点を評価いたしました。折り込みのページ以外は、全ての手本が1ページに収められているというところ、先ほど和田委員からもお話がありましたけども、教員の授業スタイルにより評価が分かれる部分かもしれませんが、学習指導要領に示す3年間の積み上げを通じて求める内容は達成できるものと考えます。

○大江慶博教育長

ということで、「東京書籍」を御推薦される方が5名、「光村図書出版」が1名ということでし

た。

では、「東京書籍」を採択することに御異議はございませんでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

では、異議なしと認めます。議案第45号吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 書写の採択につきましては、「東京書籍」を採択することといたします。

ここで教育委員会会議を10分休憩を取らせていただきます。部屋の時計で15時15分まで休憩といたします。

(休憩)

(再開)

○大江慶博教育長

それでは、会議を再開します。

続いて、日程第3、議案第46号「吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 社会(地理的分野)の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○松永誠学校教育室主幹・指導主事

それでは、別表1-3、令和7年度使用教科用図書中学校用社会(地理的分野)の選定具申について御説明させていただきます。

まず、4社に共通する内容として大きく2点ございます。

1点目、「世界の諸地域」及び「日本の諸地域」の各地域の冒頭のページでは、自然や産業、観光名所等、大きな写真を掲載し、その地域のイメージをつかむことができるように工夫されています。

2点目、「未来にアクセス」「未来に向けて」と題したコラム等のコーナーがあり、環境への取組や自然災害への対策など、SDGsに関わる題材が掲載されています。

続いて、各社の特徴を発行者順に説明いたします。

1社目、「東京書籍」です。127ページを御覧ください。上部にフィッシュボーンと呼ばれる思考ツールの記載がございます。思考ツールとは、ものごとを複合的に考える際に、自身の考えを整理して見やすい形で表現するための道具です。「東京書籍」の単元のまとめのページでは、思考ツールを用いて学習内容や自らの思考が整理しやすくなるよう工夫されています。

次に、130ページを御覧ください。右下に「聞かせて!中学生」と題したコーナーがあります。ここでは、オーストラリアには部活動がないということが紹介されています。「世界の諸地域」「日本の諸地域」の最初のページにはこのコーナーがあり、学ぶ地域について、生徒がより身近に感じ、興味・関心を持てるように工夫がされています。

最後に、「QR コンテンツ」についてです。降水量と気温を示した雨温図について、2つの雨温図を比べて表示できる「比べる雨温図」や拡大・縮小や回転といった操作が可能な「デジタル地球儀」が特色のあるコンテンツとなっています。

2社目、「教育出版」です。83 ページを御覧ください。一番下に、「関連」の記載があります。地理的分野だけでなく、社会科の「歴史的分野・公民的分野」との学習内容の関連性が示されており、他分野との関連づけがしやすい内容になっています。

次に、その上に「地理の窓」のコーナーがございます。このコーナーでは、学習から興味や関心を広げていくコラムが掲載され、生徒の学習意欲を高める工夫がされています。

最後に、「QR コンテンツ」についてです。7ページを御覧ください。生徒の地理的技能の習得を助けるため、「地理の技」コーナーがございます。このようなコーナーは4社ともにありますが、動画がコーナーごとに用意されているのは、教育出版の特色です。

3社目、「帝国書院」です。199ページを御覧ください。「日本の諸地域」では、親しみやすい「イラスト地図」が掲載されており、各地域の特

色を端的に捉えられる工夫がされています。

次に、200ページから203ページを御覧ください。写真や図などを含めた全体の色合いが鮮やかで見やすいものになっています。

次に、214ページを御覧ください。「主体的・対話的で深い学び」を実践するための「アクティブ地理」というコーナーで、教科書全体で4テーマ設定されています。設定された学習課題に対し、トライ1から3までの対話を通して、課題と粘り強く向き合う姿勢や「生きて働く知識・技能」を身につけられる工夫がされています。

最後に、「QR コンテンツ」に関してです。生徒の個別最適な学びを支える動画等のコンテンツに加え、各単元の「学習を振り返ろう」のコーナーや先ほど御紹介した「アクティブ地理」の指導を支える「ワークシート」の収録が特色となっています。

最後、4社目、「日本文教出版」です。214ページを御覧ください。下部に「小学校社会」との学習内容の関連性が示されています。教員が系統性を意識して授業設計がしやすい工夫がされています。

次に、206 ページを御覧ください。各單元ごとに「持続可能な地域をめざして」と題したコーナーがあり、学習内容を通して次世代の社会を考える機会が設定されています。

最後に、「QR コンテンツ」に関してです。先ほどの206ページ「持続可能な地域をめざして」にある動画コンテンツは、オリジナルの教科書に完全に準拠したものであり、生徒が学習を見通すことができるものとなっています。

社会（地理的分野）については、以上でございます。

○大江慶博教育長

説明が終わりました。

それでは、審議に入ります。御質問・御意見がありましたらお願いいたします。

○飴野仁子委員

領土をめぐる問題の取扱いで、発行者ごとの

特徴について教えてください。

○松永誠学校教育室主幹・指導主事

発行者で違いがありますので、竹島を例に比較・説明させていただきます。「東京書籍」28ページ下部、竹島の写真の下の記事、2行目を御覧ください。「韓国が不法に占拠しているため、日本は抗議を続けている」という記述がございます。この記述は4者に共通していますが、歴史的背景の記載内容には違いがございます。「東京書籍」では、竹島の位置関係や地形について詳細な記述がありますが、歴史的背景の記述はありません。

比較として「教育出版」21ページ上から2行目を御覧ください。1905 年の島根県への編入や1952 年以降の韓国の竹島に対する動きなど、歴史的背景の記述があります。

残りの「帝国書院」と「日本文教出版」に関しても、表現の違いはありますが、歴史的背景の記述は「教育出版」と同程度の内容となっております。冒頭に紹介いたしました「東京書籍」は、北方領土や尖閣諸島の問題に関しても、歴史的背景には触れておりません。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○谷池雅子委員

地図や写真、イラストなどの資料の扱いについて、特徴的な工夫はありますか。とりわけ神経発達症と言われるお子さんにとって、社会の地理・歴史は非常に苦手な科目であります。覚えることが多いですしというようなことで、その子たちにとっても分かりやすく学べるような、そういう工夫がされているかどうかということを教えてください。

○松永誠学校教育室主幹・指導主事

教科書の見やすさについては、特別な支援を必要とする生徒及び社会（地理的分野）を苦手

とする生徒においても、視覚的な支援となる重要なポイントであると考えます。見やすさという点において「帝国書院」、こちらは現場の先生方が参加された意見交流会において、各ページの写真やグラフ・表、そして独自のイラスト地図の色合いが鮮やかで見やすいという意見が多数ございました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○福田知弘委員

防災に関連した内容についての取扱いについてはいかがでしょうか。

○松永誠学校教育室主幹・指導主事

防災に関する内容については、どの発行者についても取り扱っております。特に、「帝国書院」150ページを御覧いただけますでしょうか。「帝国書院」は一般的な防災に関する記述に加え、「アクティブ地理」のコーナーで、自然災害から命を守る方法について、生徒同士の対話を通じて学ぶことのできる工夫がされております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○安達友基子教育長職務代理者

生徒の地理的な技能を向上させるために何か工夫がある点などがありましたら、教えてください。

○松永誠学校教育室主幹・指導主事

各発行者ともに「スキルアップ」や「地理の技」などと題したコラムや特設ページがあり、地理の学習に欠かせない基礎的な技能を段階的

に身につけられるコーナーを設けております。その中でも、生徒が苦手とする略地図の描き方について、「教育出版」と「帝国書院」では、コーナーの中に QR コードで動画が用意されているため、具体的な描き方について、生徒がより理解しやすく・ヒントを見つけやすい工夫がされています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○和田光代委員

吹田についての表記があるのはどの発行者で、どのように取り扱われているか教えてもらえますか。

○松永誠学校教育室主幹・指導主事

吹田市については、4者ともに『千里ニュータウン』について取り扱っております。どの発行者についても、ニュータウンが成立する背景などが掲載されておりますが、特に「東京書籍」と「教育出版」では、開発から50年以上たつ現在における課題や高齢者向けサービスの充実・子育て環境の整備等の取組についても取上げております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

では私から、ウクライナ問題の取扱いについて、これも発行者ごとに何か違いはありますか。

○松永誠学校教育室主幹・指導主事

ウクライナ問題について、「東京書籍」は記載がございません。その他の3者については、ロシアのウクライナに対する「軍事行動」または「侵攻」と表現に違いがあります。「教育出版」は「軍事行動」、「帝国書院」と「日本文教出版」は、「侵攻」と記載されています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

もう一点、アイヌ民族について、これも発行者ごとに何か違いはありますか。その取扱いについて何か違いはありますか。

○松永誠学校教育室主幹・指導主事

アイヌ民族の取扱いについては、各発行者ともに「北海道の開拓が進んだことで居住の場を奪われていった」という記述があります。特に、「教育出版」について、276・277ページを御覧いただけますでしょうか。こちらではアイヌ民族の歴史や文化を紹介し、多文化共生について考えるページを設けています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

ほかに何か御質問はありますか。

特にないようですので、社会（地理的分野）についての審議を終了いたします。

それでは、議案第46号、吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 社会（地理的分野）の採択について、各委員の御意見をお尋ねしたいと思います。

谷池委員からお願いします。

○谷池雅子委員

最後に御説明いただきましたように、「教育出版」もなかなかいい教科書だなと思ったのですが、私としてやはり「帝国書院」を推します。やはり何となくこの分野の実力といいますか、地理の地図の作り方とかそういう取組も非常に上手で、子供たちが学びやすいだろうなと思ったのが1点。

それとQRコンテンツも充実していると思われることと、それと先ほどおっしゃいましたように、もともと社会が苦手と思われるようなお子さんにとっても見やすい教科書になっているというのが1点であります。

ちょっと難を言うならば、今後地図によってはも

のすごく小さい、老眼鏡、虫眼鏡がないと分かりにくい地図があって、これは恐らく私が思うにQRコンテンツで補完されていると思いますけど、この辺がどうにかならないのかなというのが唯一の気になるところですけど、私としては「帝国書院」を推します。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

では和田委員、お願いします。

○和田光代委員

私も「帝国書院」を推したいと思います。理由としては、先ほども御説明の中にありましたように、先生からの意見も写真やグラフ、イラスト、図なども見やすいと、文章量も含めてバランスが非常にいいのではないかと思います。

あと、章の初めに「写真で眺める」というところから入っていくのですが、写真がほかにもたくさん掲載されている中、「技能をみがく」というところで写真の読み取り方ということを取り上げられています。そういう取り上げられていることで、それをしっかりと読み取っていくということが学習を深めていくのではないかと、他教科でも写真が出てくる教科書がたくさんあると思うので、その中でも生かしていけるのではないかなというふうに思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

では続いて、福田委員、お願いします。

○福田知弘委員

私も「帝国書院」を推します。1つは構成として各ページの下部に小学校の社会とか歴史的な分野、公民分野、そういったところとの関連性が示されていて、関連づけが分かりやすいですとか、あと各節の問いかけが毎回記載されているというところもあります。

それから、写真はほかにも使われているのですが、非常にきれいなものが使われているとか、撮影の月が示されていて、各世界によって同じ月でも風景とかが違うということも理解しやすい、それから経年変化がされている、それから先ほど京都のオーバーツーリズムのところがありましたけれども、単にその地域の特性だけでなく、そういう時事を併せて分脈を理解できる、そういったいろいろと構成に工夫がされているということで、推したいと思います。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

続いて、安達職務代理人、お願いします。

○安達友基子教育長職務代理人

私も「帝国書院」がいいと思いました。ほかの委員さんもおっしゃっていましたが、写真とか地図がきれいで見やすかったり、あとは御説明の中でもあった「アクティブ地理」がやはり面白くて、子供たちが地理で習うことと自分の生活とちょっと関連づけて考えられるのではないかなというふうに思いました。

あと、アイヌ民族とかウクライナ問題、それから竹島の歴史的経緯なども、分量はさておき、触れてはいただくほうがいいだろうなと思うことについても言及をいただいていたのもよかったかなというふうに思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

飴野委員、お願いします。

○飴野仁子委員

正直に言うと迷いました。「帝国書院」さんは地図が本当にこの出版社らしく丁寧に作られているところがすごく評価できます。ただ「東京書籍」さんと迷ったのですが、これからの視点としてももう少しプラスアルファ、どこの出版社もそう

ですけど、この地理のところから今起きていることとの関連性をどういうふうに伝えていくかという意味で、例えば、高齢化と人口減であるとか、公共交通の問題であるとか、ちょっと先の未来のことまで今の地域の現状をこの次の未来にどういうふうに重ねていくかということで、人と物と交通と交流であるとか、そんなところで「東京書籍」も非常に捨て難いなということをもものすごく思って、最後まで悩ましいところでありました。

どちらかに決めなさいということなので、地理という点では「帝国書院」を支持します。ただ今後ちょっと先の未来のこの日本のことをもう少し関連性をどう学んでいくかというところで、これからのときにまだいろいろと課題もあるかなと思う次第です。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

最後に私も「帝国書院」を支持したいと思います。各発行者ともいわゆる島国である日本の領域について、時差の学習というページの後に4ページを割いての記述となっているのですが、この4ページも含めて全体を通して図や写真が非常に見やすく、節ごとの学習のまとめも、またその後続く関連資料とともに活用することで、理解の深まりが期待できることから選びました。巻末の世界の家畜や鉱産物・農産物の紹介資料、これにも見られるように、限られたスペースに詳細な図や写真、解説が添えられており、生徒の思考や判断を促し、議論する教材が多いことを評価いたしました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

悩みましたというお話もありましたが、皆さん「帝国書院」を推しておられるということですので、この「帝国書院」を採択することに御異議ございませんでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

では、異議なしと認めます。議案第46号、吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 社会（地理的分野）の採択については、「帝国書院」を採択することといたします。

次に、日程第4、議案第47号「吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 社会（歴史的分野）の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○藤原知宏教育センター所長代理・指導主事

それでは別表 1—4、令和7年度使用教科用図書中学校の選定具申、種目、社会（歴史的分野）を発行者順に御説明しますので、よろしくお願いします。

では初めに、「東京書籍」についてです。「東京書籍」は、62 ページを御覧ください。こちらにステップチャートというものが示されております。また、199ページを御覧ください。こちらにはクラゲチャートが示されております。「東京書籍」ではこういったツールを示し、章で取り扱われた時代や歴史的事象を振り返る考察から表現までのプロセスが示されており、歴史的事象について多面的に考察する活動の充実が図られております。また、考察から表現までの具体的な活動や、そのプロセスが章ごとに多様に掲載されているため、探求的な学びについて取り組みやすい工夫がされております。

次に、「教育出版」についてです。「教育出版」では、各章においては問いが記載され、章の初めの導入部では、これから学習する時代の変化に注目させて、社会の変化を予想させる発問があり、章末の「まとめと表現」は、例えば 56 ページから 58 ページを御覧ください。この「まとめと表現」のページでは、「HOP!」「STEP!」「JUMP!」で一貫して章の学習を振り返る形式になっており、生徒が章の学習を振り返りまで見通しをもちながら学習しやすくなっております。

次に、「帝国書院」についてです。「帝国書院」

では、各章においては問いが記載され、章の初めでは、どのように社会が変化するか予想するコーナーを設けることによって、生徒が学習の見通しをもつための工夫がなされております。また、章末では例えば62 ページを御覧ください。62ページに記載されているように、章の初めに立てた予想からの考えの深まりを振り返ったり、さらに深めたいと思ったりしたことを考える活動が記載され、主体的な学びの充実が図られております。

次に、「山川出版」についてです。「山川出版」では、章の初めに年表と多様な資料が掲載され、章末ではまとめとして複数の発問が掲載されております。例えば100 ページ・101 ページを御覧ください。このページのように立場を変えて歴史的事象について振り返るという多面的な考察を促す工夫がされております。

次に、「日本文教出版」についてです。「日本文教出版」では、例えば 63 ページを御覧ください。このページに記載されているように、編・章の初めと終わりでの学習課題に対する考えの変容についてポートフォリオを活用して把握し、今後の学びに生かしたいことや、さらに考えたいことにつなげる主体的な学びの充実が図られております。

次に「自由社」についてです。「自由社」については、各章においては、章末、例えば64ページから68ページを御覧ください。この章末ページのように「調べ学習のページ」、「復習問題のページ」、「時代の特徴を考えるページ」、「対話とまとめ図」、これらで一貫して章の学習を振り返る形式になっており、章末の活動について、生徒が系統立てて取り組みやすくなっております。

次に「育鵬社」についてです。「育鵬社」では、各章において、章の初め、例えば24ページから27ページを御覧ください。このように学習の見通しを持つための「鳥の目で見ると」「虫の目で見ると」、これらのコーナーと学習課題の掲載があり、章末の「学習のまとめ」は見開き2ページで、知識の整理から自分の考えを表現する活動を整理しやすくなっております。

次に、「学び舎」についてです。「学び舎」では

例えば200ページを御覧ください。このように、生徒の興味・関心を引く標題とともに学習課題が記載されており、「フォーカス」のコーナーでは、歴史的事象を多面的に考察する内容が掲載されており、生徒の学習の深まりを支援する工夫がされています。

最後に、「令和書籍」についてです。「令和書籍」では各章において、例えば 184 ページを御覧ください。このページに記載されていますように、政治、文化、外交、産業の4つの分野で章の初めに課題を示し、章末にそれぞれ振り返るという学習した時代の特徴を多面的に考察する構成になっています。

以上で、社会（歴史的分野）の説明を終わります。

○大江慶博教育長

説明が終わりました。

それでは、審議に入ります。何か御質問・御意見がありましたらお願いします。

○福田知弘委員

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、各出版社の工夫の中から特徴的なものがあれば教えてください。

○藤原知宏教育センター所長代理・指導主事

「東京書籍」では、章末の「深めよう」のページにて学びを深める活動が具体的に示されています。

「帝国書院」では、章末の「章の振り返り」のページにて、話し合って考察する活動が具体的に示されています。

「日本文教出版」では、編・章の前後での考えの深まりや変容を振り返る活動がそれぞれ提示されており、生徒にとっても教員にとっても、「主体的・対話的で深い学び」へのアプローチがしやすいとなっております。

また、「東京書籍」の189ページを御覧ください。右のほうの下部のオレンジ色のコーナーになるのですが、「みんなでチャレンジ」のコーナーで、

見方・考え方を働かせるとともに、対話を通して学びを深める課題も随所に掲載されています。

以上です。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかにありますか。

○福田知弘委員

歴史の大きな流れを世界の歴史とともに各時代の特色を踏まえて理解するための工夫として、どのようなものがありますか、教えてください。

○藤原知宏教育センター所長代理・指導主事

世界の歴史との関連づけにつきましては、例えば「山川出版」の14ページを御覧ください。「山川出版」では、章の初めにその時代における日本と世界の年表を並列で示されています。

「日本文教出版」と「学び舎」では、編または章の初めにその時代の世界地図と関連資料が掲載されています。「日本文教出版」は 20 ページでございます。「学び舎」は例えば 10 ページを御覧ください。

また「東京書籍」では、章の初めにある学習のポイント等を示す吹き出しで世界との関わりについて着目するポイントが提示されています。「東京書籍」は例えば23ページを御覧ください。左下のほうの登場キャラクターの吹き出しの中でございます。

各時代の特色を捉えることにつきましては、「東京書籍」、それから「教育出版」、「帝国書院」、「日本文教出版」では、章または編の初めにおいてその時代を通した問いが設定されており、見通しをもちながら学習を進め、章末において、章の初めに設定された問いを踏まえてその時代を振り返ったり、自分の考察につなげていったりする活動が掲載されています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに何か御質問はありますか。

○飴野仁子委員

歴史的分野の学習が苦手な生徒たちに対して、各社の工夫があれば教えてください。

○藤原知宏教育センター所長代理・指導主事

理解を促す工夫として、巻末に歴史の流れが分かる年表を掲載している出版社は、「東京書籍」、「教育出版」、「帝国書院」、「日本文教出版」、「自由社」、「育鵬社」、「学び舎」です。また、各ページにおいて時代区分のスケールを示し、今どの時代を学習しているかを分かりやすくしている出版社は、「東京書籍」、「教育出版」、「帝国書院」、「日本文教出版」、「育鵬社」、「自由社」でございます。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに何か御質問はありますか。

○安達友基子教育長職務代理者

人権に関わる事象に関しては、各発行者がどのように扱っているか教えてください。

○藤原知宏教育センター所長代理・指導主事

各発行者とも、部落差別や女性の権利、民族の問題等について、コラムや特集ページを掲載するなど、基本的な人権を尊重する立場に立った内容を幅広く取り扱っています。中には例えば、「東京書籍」の265ページを御覧ください。右上の「未来にアクセス」というコラムでございます。あと、「帝国書院」の301ページを御覧ください。上部の「未来に向けて」というコラムになっております。「東京書籍」や「帝国書院」の当該ページのように、地理的分野や公民的分野との関連を図った学習につながるように取り扱われているものもございます。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○安達友基子教育長職務代理者

日本国憲法について、各発行者がどのように扱っているかも御紹介いただけますか。

○藤原知宏教育センター所長代理・指導主事

「東京書籍」では、民間団体の案を参考にして作成された GHQ 草案を政府が受け入れ、それを基に改正案を作成し、議会で審議・修正されたと記載されております。

「教育出版」、「帝国書院」、「日本文教出版」、「学び舎」では、民間団体などの草案を参考にして作成された GHQ 草案が示され、それを基にまとめられた政府案が、議会で審議・修正されたと記述されております。

「山川出版」では、GHQ により作成された草案の一部に手を加えたものが政府案として発表され、議会で審議・修正されたと記述されております。

「自由社」、「育鵬社」では、GHQ の示した改正草案を受け入れるように迫られたことや、議会での審議の際に GHQ の意向に議員は反対の声を上げることができず、ほとんど修正されないまま成立したと記述されております。

「令和書籍」では、連合国に押し付けられた側面もあるが、議会で膨大な時間を使って審議を重ね修正したものであることや、GHQ 草案との違いに言及する記述があります。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○和田光代委員

領土問題について、各発行者はどのように扱っているか教えてもらえますか。

○藤原知宏教育センター所長代理・指導主事

各発行者において、学習指導要領やその解説に基づいて、北方領土が一貫して我が国の領土であることや、国際法上正当な根拠に基づき、竹島、尖閣諸島を正式に領土に編入した経緯にも触れられております。

「東京書籍」では、176ページを御覧ください。見開き2ページで1単位時間の学習内容として、この領土問題について位置づけをしております。

また、「教育出版」、「帝国書院」、「山川出版」、「日本文教出版」、「育鵬社」では、これら各社でも見開き2ページで領土問題に焦点を当てる特集ページを設けております。中でも今御覧いただいている「東京書籍」においては、我が国の領土である根拠になる文献資料や人々の暮らしの営みの写真等が豊富に掲載されております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかに御質問はありますか。

○飴野仁子委員

真実や評価が絶対的とは言えないような分野について、子供たちに多様な思考と議論を可能とするように、そしてできるだけ偏りを避けた記載がなされているかという点で検討したいと思えますけれども、例えば南京事件に関して、各社の記載について教えてください。

○藤原知宏教育センター所長代理・指導主事

偏りがあるかどうかは主観的な判断となりますので、偏りという言葉を用いて説明することは控えさせていただきたいと考えております。南京事件について御説明をさせていただいてよろしいですか。「東京書籍」228ページを御覧ください。前に写すのが難しいかもしれませんが、同様に「日本文教出版」では242ページでございます。この2者においては、日本軍が多数の捕虜や市民を殺害し、その被害者数等については調査研究中だという旨が記述されております。なお、

「東京書籍」については「南京大虐殺」とも呼ばれることを含めて記載されております。

次に、「教育出版」233ページでございます。「教育出版」では、捕虜や住民を巻き込んで多数の死傷者を出し、犠牲者などについては様々な説がある旨が記述されております。

「帝国書院」258ページを御覧いただくと、殺害したという主語はなく、多くの民間人が殺害され、全体像については研究中で様々な説があるという旨が記述されております。

「育鵬社」230ページを御覧ください。「育鵬社」では、日本軍によって中国の軍民に多数の死傷者が出たことと、実態については論争が続いている旨が記述されております。

「山川出版」240ページを御覧ください。また併せて「学び舎」の225ページを御覧ください。この2者につきましては、日本軍が多くの捕虜や市民を殺害したことのみが記述されております。

「自由社」の233ページを御覧ください。「自由社」では南京を占領したことのみが記述されております。

「令和書籍」の362ページを御覧ください。「令和書籍」では、現在の日本の学界では、虐殺や不法殺害の人数について定説がない旨と、当時の国民革命軍の軍人の多くが民間人に扮して民間人を人質に立てこもるという国際法違反をしていた旨と、虐殺数30万人の根拠はいまだ示されたことがない旨がそれぞれ記載されております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○谷池雅子委員

歴史は現代史も何が真実かというのは分からないところもありますけれども、要するに生徒が多面的・多角的に考察できるようにやはり教科書は工夫すべきかというふうに思うのです。そういうふうな工夫が見られる発行者はございます

か。

○藤原知宏教育センター所長代理・指導主事

特徴的なものとしては、「東京書籍」、「帝国書院」、「日本文教出版」が挙げられます。これらの3者においては、章・編末で「×チャート」や「ウェビング」、あるいは「フィッシュボーン図」といった思考ツールを示しながら、かつ具体的にそれらを活用して、歴史的事象や時代の変化を多面的・多角的に考察するという課題が設定されております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかに御質問はありますか。

○和田光代委員

天皇制についてどのように取り扱われているか教えてもらえますか。

○藤原知宏教育センター所長代理・指導主事

各発行者において、学習指導要領やその解説に基づいて、日本国憲法において天皇が日本国及び日本国民統合の象徴とされている旨、記載されております。なお、「自由社」、「育鵬社」、「令和書籍」では、昭和天皇が終戦後全国訪問を行い、各地で熱烈な歓迎を受けたことや「天皇陛下万歳!」のかけ声が起きたといったこと等が記載され、また昭和天皇の果たした役割と、それを受け継いだ平成の天皇に関する特集ページがこれら3者にはございます。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。よろしいでしょうか。

では、質問も出尽くしたようですので、社会（歴史的分野）についての審議を終了いたします。

議案第47号、吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 社会（歴史的分野）の採択について、委員の御意見をお願いしたいと思います。

和田委員からお願いします。

○和田光代委員

私は御説明していただいた内容も踏まえて、「東京書籍」がよいと思います。その理由としては、見開きの2ページで1時間の授業が組まれているということと、取り組みやすく、学習内容が整理しやすい工夫もされているということ、あと「みんなのチャレンジ」というところで御説明もありましたが、対話的な活動もそんなに難しい内容のところから章のところでは入らず、皆で取り組めるような対話ができるような課題を設定して取り組むという形をされているのが非常によかったように思いました。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

では続いて、福田委員、お願いします。

○福田知弘委員

私も「東京書籍」を推したいと思います。まず教科書の表現としては平易で、適切な分量で記載されている、それから資料がバランスよく掲載されていて、特に近代の図とか、特に写真とかでカラーが結構使われているなという印象があります。どうしても白黒ですと想像が必要になってきますので、そういう意味でも学びがいいのではないかなということです。あとは主体的な学びという観点でも、もっと知りたいというコラムとか、これはほかにもないこともないのですけども、それから未来へつながるというところで国際協調とか国際平和、エネルギー、そういったところの内容が豊富に記載されているということで、これは歴史に限らず公民とかほかの分野につながる工夫もなされていると、そういうことで「東京書籍」を選びたいと思います。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

続いて、安達職務代理人、お願いします。

○安達友基子教育長職務代理人

歴史の教科書ということで、歴史をどう捉えるかという事実を捉えるだけでも様々説があるんだと思いますけれども、公立学校で使う教科書ということですから、現在のということにはなるのでしょうけれども、歴史学上の通説的なところに基づいてできる限りニュートラルであるべきだろうと、それが基本的なスタンスです。その上で見させていただく中では私も「東京書籍」がいいかなというふうに思いました。年表ですけれども例えば、63ページとか143ページとかにあるような、これはどういう法則で出てくるのかまでは分かりかねたのですが、日本の国内の政治や文化、それからそこに東アジアの情勢、下の欧米の出来事など大きなところを整理して書いていただいているのが、子供たちが学習するに当たっては分かりやすいかなと、ほかの発行者にも同じような年表が見られましたけれども、「東京書籍」のが一番分かりやすいかなと個人的には思いました。

あと御紹介いただいた中にも「未来にアクセス」というコラムがありましたが、そこで取り扱っていただいている内容もとてもいいかなと思ったので、「東京書籍」がいいと思いました。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

続いて、飴野委員、お願いします。

○飴野仁子委員

私は様々迷うところもあったのですが、具体的には「東京書籍」と「帝国書院」で迷いました。結論は「帝国書院」を推薦したいと思います。理由は、例えば、琉球とアイヌについての記述の内容などもとても充実しておりましたし、それから264ページですけれども、これは太平洋戦争に進んでいくときに日本が派遣をする地図ですけ

ども、その中に地図だけじゃなくて、その先にある東南アジアの資源であるとか、ゴムだとか石油だとか錫とかそういったところも加わっていて、どのようにこの戦争が進んでいったのかなとか、米国との発電量であったり、そんな記載なんかもいろいろと理解を深める中で充実しているかなと思いました。

それから沖縄戦の記載も2ページと非常に充実しておりましたし、それからその後、大阪と神戸の発展の日本のマンチェスターみたいな、そういった記述のところなんか身近に感じられて、それから歴史とともに、そして今がどうなのかというようなこと、そういう点でいいなと思いました。

それから現在のところで、現代社会の諸課題の解決にどうやって我々は向き合っていくのかという課題の中で例えば、アフガニスタンの中村哲さんの御紹介があったりとか、それから東日本大震災と原発についての記載なんかもありました。そんなことも踏まえて、全体の歴史と、そして現代、これからというところで歴史の教科書として今回は「帝国書院」がいいかなというふうに私は思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

谷池委員、お願いします。

○谷池雅子委員

どうもありがとうございます。私は飴野委員がおっしゃったように「帝国書院」が面白いなと思って、ビジュアルも面白いですし、デジタルコンテンツの内容が非常によく、「帝国書院」もいいなと思ったのですが、結局は「東京書籍」を推します。

まず「帝国書院」も「東京書籍」も内容がある意味言い方が難しいですけど、そんなに偏っていない、それで子供たちが学んでいろいろ考えるということのベースとしては非常にいい、あまり偏ってしまうと、そんなによろしくなからうというのがまず1点あります。

さらに「東京書籍」は、クラゲチャートとかフィッシュボーンとか、要は一方通行、1つの方向だけでこれだからこうじゃなくて、いろいろな考え方をファシリテートするという、そういう仕組みがとてもいいなというふうに思います。特に先ほど申し上げましたように、歴史というのはいろいろな見方があるわけで、何が真実かというのはいつまでやっても分からないということもあり得ますが、子供たちに考える力をつけてほしいと思いますので、私は「東京書籍」を推します。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございました。

私も「東京書籍」、これを支持したいと思います。地理的分野と歴史的分野を2年間で学習するということを前提とした場合に、世界の歴史を背景に我が国の歴史を書く時代の特色を踏まえながら理解するための教科用の図書としては、資料数であるとか情報量が適当であって、社会の形成者としての資質能力の基礎を育成することが期待できるということで選んだわけです。国の内外を問わず、歴史に関わる諸事象に関連した人物の紹介、これも充実しており、文化や産業、政治や紛争など、世界や我が国の歴史上の大きな流れが理解できる構成となっていると思います。

また、QRコンテンツは、授業で使用するワークシートや動画、関連資料等が豊富にあり、実際の授業を想定した使いやすい工夫が見られました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

社会（歴史的分野）につきまして、5名の方が「東京書籍」、1名の方が「帝国書院」を支持するというので、「東京書籍」を採択することに御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

○大江慶博教育長

では、異議なしと認めます。議案第47号、吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 社会（歴史的分野）の採択につきましては、「東京書籍」を採択することといたします。

ここで会議を、部屋の時計で16時25分まで10分間休憩を取らせていただきます。

（休 憩）

（再 開）

○大江慶博教育長

それでは、会議を再開いたします。

続いて日程第5、議案第48号「吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 社会（公民的分野）の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○富士谷彩香教育センター主幹・指導主事

それでは、別表1ー5、令和7年度使用教科用図書中学校用社会（公民的分野）の選定具申を発行者順に御説明しますので、よろしくお願いします。

1社目は「東京書籍」です。「東京書籍」では、見開き1ページごとに QR コードが掲載されており、そのコンテンツ内容が充実しています。また、各章の導入のページでは、生徒にとって取り組みやすいワークが用意されております。例えば、38ページを御覧ください。ここでは「ちがいのちがいの」というワークがあり、前の章で学習した効率と公正の考え方を踏まえながら、この章で学ぶ人権について考えさせることができます。ほかにも、課題解決に向けて考えを深められるよう、「もっと知りたい」のページがあります。例えば126ページを御覧ください。ここでは「東日本大震災からの復興と防災」というテーマで、復興や防災の現状と課題について考えることができます。

2社目は「教育出版」です。「教育出版」では、教科書のタイトルに「共に生きる」とあり、基本的な人権の学習について、他の発行者よりも分量が多くなっています。本文ページのタイトルも工夫さ

れています。例えば60ページを御覧ください。ここでは言葉だけでは内容が分かりづらい「社会権」の單元について、「人間らしい生活とは」というタイトルがつけられています。また、本文ページの下にも関連する目標が載せられているように、全編を通してSDGsを軸として、現代社会の諸課題の解決に向けて社会に参画していく意識や態度を育てることできるようになっています。ほかにも、「持続可能な社会に向けて」という特設ページでは、現代社会の諸課題について生徒が考えを深められるようなテーマが設定されています。例えば180ページを御覧ください。180ページでは「なぜ、『障害の社会モデル』が注目されているのだろう」というテーマが取り上げられています。

3社目は「帝国書院」です。「帝国書院」では、「アクティブ公民」という特設ページやコラムが充実しているのが特徴です。例えば、166ページを御覧ください。このページでは、「赤字バス路線に税金を使うべきか?」というテーマで自分の意見をまとめたり、対話的な学習を行ったりすることができます。また、51ページを御覧ください。このページは平等権を扱う單元になっていますが、ダイバーシティやインクルージョンといった考え方について本文中で述べられています。ほかにも章の導入のページでは、イラストからその章の学習についての見通しを持たせるという点がほかの発行者にはない、独自のスタイルになっております。

4社目は「日本文教出版」です。「日本文教出版」では、「アクティビティ」というコーナーが充実しており、現代社会の諸課題について考えを深めたり、対話的な学習を行ったりすることができます。例えば、63ページ上部を御覧ください。ここでは、「ビッグデータと防犯カメラ」というテーマが設定されており、プライバシーの権利などについて考えることができます。また、「明日に向かって」というページでは、生徒の生活に身近な内容が取り上げられており、学習内容を自分事として考えるきっかけとなります。例えば57ページを御覧ください。ここではバリアフリーについて取り上げられておるのですが、実際に2か所に点字が

印刷されています。

5社目は「自由社」です。「自由社」では本文横の注釈が充実しており、生徒が理解を深めやすくなっています。例えば158ページを御覧ください。この158・159の見開きページには3つの注釈があります。また、章のまとめや「アクティブに深めよう」のページにおいて、自分の意見を文章にまとめる活動が多く取り入れられているのが特徴です。例えば160ページを御覧ください。ここでは、「家事方法の進歩は私たちの生活にどのような影響を与えたか」というテーマで対話的な活動を行った後に、600字程度で自分の意見をまとめるワークがあります。

6社目は「育鵬社」です。「育鵬社」では、巻頭の3ページを御覧ください。「なぜ公民を学ぶのか」というページです。ここでは公民の導入として、独自の概念図を示した上で公民的分野の学習について説明されています。また、「学習を深めよう」というコラムのコーナーが多くあり、学習内容と関連のある情報が紹介されています。例えば113ページを御覧ください。ここでは「アニメソウルリズム」についてのコラムが掲載されており、本文で学習する「地方創生」の具体的な取組の1つとして、生徒が理解を深めることができます。

以上で、社会（公民的分野）の説明を終わります。

○大江慶博教育長

ありがとうございました。

では、審議に入ります。御質問・御意見がありましたらお願いします。

○安達友基子教育長職務代理者

人権の取扱いについて、各発行者の特徴があれば教えてください。

○富士谷彩香教育センター主幹・指導主事

どの発行者でも、自由権、平等権、社会権をはじめとする様々な権利について取り扱われていますが、特に「東京書籍」、「教育出版」、「帝国書院」、「日本文教出版」ではインクルージョンや合

理的配慮の考え方、性の多様性、AIの発達と人権についてなど、生徒を取り巻く現代社会の課題についても取り上げられています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかに質問はありますか。

○飴野仁子委員

平和主義について、どのように取り扱われているか教えてください。

○富士谷彩香教育センター主幹・指導主事

どの発行者も、自衛隊や日米安全保障条約などについて、賛否の意見があることを踏まえて記述されています。「教育出版」では、74ページを御覧いただきたいのですが、ここで平和主義について「外交交渉など平和的手段によってその解決を目指していく考え方」であるとも述べられており、外交について生徒に考えさせることができるようになっています。

また、「教育出版」と「日本文教出版」では、基本的人権についての学習をした後に、平和主義についての学習を行うため、平和の大切さについて生徒がより理解しやすくなっています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○福田知弘委員

主体的・対話的で深い学びを実現するような工夫に特徴的なものはございますか。

○富士谷彩香教育センター主幹・指導主事

教員による意見交流会では、「帝国出版」の「アクティブ公民」のコーナーやページでは、具体的なテーマについて、生徒が自分の意見をまとめたり、他者と意見を交流したりしながら学びを

深めることができそうであるという意見や、「教育出版」の「公民の技」や「think!」のコーナー、「日本文教出版」の「アクティビティ」のコーナーでは、資料から考えるワークが多く、授業において使いやすそうであるという意見が多く出ておりました。

以上です。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかに御質問はありますか。

○谷池雅子委員

デジタルコンテンツの取扱い、内容について各発行者の特徴があったら教えてください。

○富士谷彩香教育センター主幹・指導主事

「東京書籍」と「日本文教出版」は見開き1ページごとに1つ、そして「教育出版」と「帝国書院」は生徒の考えを深めさせたいところや章の導入・章末にQRコンテンツが掲載されています。コンテンツの内容が充実しているのは「東京書籍」です。QRコードの下に、どのコンテンツへのリンクであるのかが記載されているため、生徒が自身の関心に応じて活用しやすくなっております。

以上です。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかに御質問はありますか。

○和田光代委員

主権者教育の取扱いについて、各発行者の特徴はどうなっていますか、お願いします。

○富士谷彩香教育センター主幹・指導主事

「東京書籍」と「帝国書院」では、それぞれ「18歳へのステップ」、「18歳への準備」という成年年齢引下げを意識した特設ページを設け、選挙や契約、ライフプランについて生徒が考えら

れるようになっていきます。例えば「帝国書院」の84ページの「18歳への準備」を御覧ください。ここでは「メディアリテラシーを身につけよう」というテーマで、主権者として情報を適切に読み解く力の必要性について考えさせることができます。

また、政治参加を促すという点では、「教育出版」の90ページを御覧ください。ここは「18歳選挙と私たち～これからの選挙を考える」という単元です。この単元では、若い世代の声を政治に反映することの大切さについて記述されています。

また、同様に「日本文教出版」の91ページの上部です。「アクティビティ」のコーナーでも若い世代の政治参加について考えるワークがございます。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかに御質問はありますか。

では、質問も出尽くしたようですので、社会（公民的分野）についての審議を終了いたします。

議案第48号、吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 社会（公民的分野）の採択について、各委員の御意見をお伺いしたいと思います。

では、福田委員からお願いします。

○福田知弘委員

私は「教育出版」を推したいと思います。これまでもそうですが、これから共につくっていく社会に向けて、国際社会や基本的人権などについても公平にバランスよく記述されているということ、それからマイナンバー制度とかAIとの関わりなど、これからの課題についてもきちんと触れられているということ、それからグラフなども非常に充実していて理解しやすい内容になっているというふうに考えました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

では安達職務代理人、お願いします。

○安達友基子教育長職務代理人

私も「教育出版」がいいと思いました。特に「教育出版」は、基本的人権についての取扱いがとても手厚くて、最初のほうのページでかなりまとめて割いていただいていた。中でも新しい人権のことについても言及がありましたし、子供の権利条約などについてもきちんとカバーをされていて、本文中で書いていただいたことにはとても好感を持ちました。

あと、持続可能な社会に向けてというところのページで取り扱っている内容もとても適切であったなというふうに感じました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

続いて、飴野委員、お願いします。

○飴野仁子委員

私も公民については「教育出版」を推薦したいと思います。理由は平和主義のところでは先ほどの御説明もありましたけど、沖縄島に集中する米軍基地の取扱いであるとか、それから消費者の立場、流通であるとか生産と消費の関わり方だったり市場の仕組みと働きであったり、そういった視点からもよくまとめられていると思いました。

それから右下に確認事項があるので、こういったつくりはほかの教科書にもされているところはありませんけども、この確認事項が適切に思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

谷池委員、お願いします。

○谷池雅子委員

私も「教育出版」を推します。その理由は歴史ほど目立ちませんけども、家族とはとか、あとは地域とは日本とはというデリケートな問題と非常にリンクしているので、どうしても偏りが出がちなこの教科書で、「教育出版」は非常にフェアに書かれているというのが一つ。

それとやはり学びやすい、そういう教科書になっているということ、多様性に関してもきちんと書いてあるということで、「教育出版」を推します。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

和田委員、お願いします。

○和田光代委員

私も「教育出版」を推したいと思います。理由としては、「教育出版」にキャラクターが最初のほうに出てくるのですが、そのキャラクターにも配慮されているということもあり、18歳の主権者教育についても単元として取り上げて使われているのがいいのではないかなというふうに思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

私も「教育出版」を支持したいと思います。生徒が国家や社会の形成者となるために個人を尊重すること、あるいは法の支配を理解すること、これは非常に重要でありまして、日本国憲法を学んで、基本的人権や平和主義を正しく理解できるような構成となっている点にも見られるように、節ごとに学習内容の特色や相互の関連を重視している、そういったあたりを評価いたしました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

社会（公民的分野）につきましては、皆さん「教育出版」を支持するということですので、「教育出版」を採択することに御異議ございません

でしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

では、異議なしと認めます。議案第48号、吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 社会（公民的分野）の採択につきましては、「教育出版」を採択することといたします。

次に、日程第6、議案第49号「吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 地図の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○齋五澤理陽教育センター主幹・指導主事

それでは、「別表1-6、令和7年度使用教科用図書中学校用地図」の選定具申を発行者順に御説明しますので、よろしくお願いします。

まず初めに、「東京書籍」です。「東京書籍」の地図帳は今年度より A4 判に拡大され、地図も見やすくなるように工夫されております。69 ページを御覧ください。このように日本の地名の全てにルビを振り、見やすくなるよう配慮されているだけでなく、ユニバーサルデザインに基づいた配色が地図にされております。内容について一例にはなりますが、53 ページを御覧ください。こちらは北アメリカ州の鳥瞰図になります。平地や山脈だけでなく、海の深さが分かりやすく表現されています。このような鳥瞰図が随所に取り入れられており、全体的に見ても地球の形が捉えやすいように工夫されています。

続いて、15ページを御覧ください。このように「世界の生活や環境」に関連する箇所は全部で27か所設けられており、多様な文化や価値観に対する理解を育みやすいように工夫されています。また日本の図表・写真・グラフ等についても39ページに記載しており、生徒がより学習において情報収集しやすいように配慮されております。

最後に、デジタルコンテンツについてです。QRコードによるデジタルコンテンツを採用しており、QRコードを読み取ると10項目のアイコンが出て

きます。その中で様々なコンテンツが用意されており、目的に応じて活用していくことで多種多様な生徒の学びを保障できるようになっております。

次に、「帝国書院」です。87ページを御覧ください。このように「帝国書院」も日本の地名にルビを振り見やすくなるよう配慮されているだけでなく、ユニバーサルデザインに基づいた配色がされております。続いて内容について、65ページを御覧ください。こちら北アメリカ州の鳥瞰図になりますが、鳥瞰図自体が非常に立体的に描かれ、自然の様子もよく分かるような配色であったりすることで、生徒の興味・関心を引き出しやすい工夫がされています。このような鳥瞰図が各州ごとに採用されており、地球の形が捉えやすいように工夫されております。

続いて、19ページを御覧ください。「世界の生活や文化」、「生活や環境」に関連する箇所は34か所設けられており、多様な文化や価値観に対する理解を育みやすいように工夫されております。また日本の図表・写真・グラフ等を51ページにおいて掲載しており、こちら生徒一人一人が情報を収集しやすいように配慮されております。

最後にデジタルコンテンツについてです。「帝国書院」についても、QRコードによるデジタルコンテンツを採用しております。こちらを読み取りますと、利用規約も含め15のコンテンツ一覧が出てきます。アイコンを直感的に選択しやすいつくりになっており、生徒の多様な学びを保障できるように工夫がされております。

地図については以上でございます。

○大江慶博教育長

ありがとうございました。

それでは、審議に入ります。御質問・御意見がありましたらお願いします。

○飴野仁子委員

生徒一人一人が主体的に学ぶ工夫について、各社の工夫について教えてください。

○齋五澤理陽教育センター主幹・指導主事

東京書籍は1見開きに1問以上「Bee's eye」といわれる蜂のキャラクターによる質問が設けられており、主体的な学びにつながる工夫が見られます。その質問の解答をQRコードによるコンテンツに掲載するなど、どこでもいつでも確認ができるように工夫がされております。

「帝国書院」においては、「地図で発見!」という問いを103か所、計156問配置しております。また、資料図を同縮尺で提示することで、生徒自ら複数の図を比較・関連させて考察できるように工夫されております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○和田光代委員

大阪府や吹田市について、どのように記載されているか教えてもらえますか。

○齋五澤理陽教育センター主幹・指導主事

まずは「東京書籍」の91ページを御覧ください。91ページに記載のとおり、大阪市内を大きく取り上げており、「京セラドーム」や「四天王寺」など著名な建物がイラストで少し大きく表記されております。吹田市に関しては、87ページを御覧ください。こちらの地図の中に地名や建造物として垂水神社、千里ニュータウン等の表記がございます。

続いて「帝国書院」は、109ページを御覧ください。109ページに大阪市内の著名な建物もイラストで記載があるだけでなく、吹田市内として「太陽の塔」をイラストで分かりやすく記載しております。その他建造物の名称も「帝国書院」には名称記載等もされております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○和田光代委員

内容において、特徴的なものはございますか。

○齋五澤理陽教育センター主幹・指導主事

「帝国書院」の 51 ページを御覧ください。学校現場の先生方の意見交流会において、地名等の記載において、「帝国書院」は括弧書きで記されている地名が多く、授業で扱う際にも、その歴史的な背景を教えるきっかけにもつなげやすい、そういった効果が期待できると声が上がっていました。さらに、「帝国書院」の大都市周辺部を示す資料では、交通などによる地域間の結びつきや、通勤圏・商圈など「機能地域」が的確に捉えやすい工夫がされております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○谷池雅子委員

個別最適な学びや協働的な学びについて、特徴的に工夫されていることがあれば教えてください。

○齋五澤理陽教育センター主幹・指導主事

「帝国書院」は資料が豊富に掲載されており、学習段階に応じて活用する資料を選択しやすいものとなっているため、個別最適な学びから協働的な学びへと発展させる際にも、発問の工夫や多様な視点を持たせやすいものとなっています。さらには、「地図活用」の項目において、主体的に学べる問いが設定されているため、生徒の資質・能力を育成するための工夫が充実しています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかに御質問はありますか。

○安達友基子教育長職務代理者

ほかの教科であったり、社会科の中のほかの分野との関連性はどのように示されているか教えてください。

○齋五澤理陽教育センター主幹・指導主事

「東京書籍」については、各分野の教科書との連携を意識した、視覚的に体感できる資料や詳しく見る資料、多面的・多角的に捉える資料を掲載しております。8 ページを御覧ください。8 ページに SDGs の一覧を掲載し、それに応じた資料を複数掲載することで、総合的な学習との関連も図ることができるように示されております。

「帝国書院」8 ページを御覧ください。「帝国書院」の8ページも同様にSDGsの一覧を掲載しておりますが、ここだけでなく、こちらは取り扱う範囲も広く、多くのページでSDGsを意識した資料が充実しております。また自然災害や・防災への意識が高められる資料が豊富に掲載されているため、より一層総合的な学習の時間とのつながりを図ることが可能になっていると現場の先生からの声が上がっていました。さらには歴史的分野で活用できる鳥瞰図や、アイコンを用いて歴史や公民などでの活用を促しやすくなっております。また、世界の宗教や料理など、世界の文化を紹介する資料を大きく取り上げることで、多文化理解や国際理解教育との関連を図りやすくなっております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はございますか。

では、ないようですので、地図についての審議を終了いたします。

それでは、議案第49号、吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 地図の採択について、各委員の御意見をお伺いします。

安達職務代理者からお願いします。

○安達友基子教育長職務代理者

地図については2社ということで、基本的にどちらもあり遜色ないくらい見やすく工夫して作っていただいていると思いました。なのでどちらを選んだとしてもきちんと学習はできるだろうというふうに思ったのですが、どちらかを採択しなければいけないということで、比較をしたときに少しの差ですけれども、SDGsとの関連づけがやや多かったりとか、また歴史や公民との関連づけがやや見やすいというところで、「帝国書院」かなというふうに思いました。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

では飴野委員、お願いします。

○飴野仁子委員

私も2社で際立って差がというふうには思わないのですが、ただやはり「帝国書院」のほうがテーマの説明だけでなく、関連づけて特に持続可能な社会との関わりという意味で、ちょっとの差ですが「帝国書院」がいいかなと思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

続いて、谷池委員、お願いします。

○谷池雅子委員

地図が「帝国書院」のほうがいいですね。余分な分をカットして大きくクローズアップしていたり、北アメリカの鳥観図にしてもやはり見比べたら「帝国書院」のほうがいいかと、地図を作る人としての一日の長があるかなと思って、「帝国書院」を推します。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

和田委員、お願いします。

○和田光代委員

私も「帝国書院」がいいなというふうに思っています。地図が非常に見やすく、子供たちの興味・関心を引くような地図がたくさんあるのかなというふうに思いますし、私自身が気に入っているところでもありますけど、SDGsで、地図で考える持続可能な社会というところが世界地図で載っているのですが、それも見やすく捉えやすい、その後、それに対して取り組んでいることを書いてあります。それは「東京書籍」でも書かれているのですが、「帝国書院」は見てすぐに分かるような、興味を引くような形で記載されているので、そこは非常にこれからいろいろな問題がある中で子供たちが捉えやすいのかなというふうに思っていました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

福田委員、お願いします。

○福田知弘委員

「帝国書院」がいいと思います。例えば関東地方の表現を比べると、ほかもそうですけど、低地の表現が「東京書籍」は基本的に高さの違いで色分けしているのですが、「帝国書院」は土地利用になって分けている、これが明らかに違う。

それから「東京書籍」は黄色でも塗られているのですが、その黄色が何を示しているかがほかのページには書かれているのですが、このページには書かれていないのですね。そういう凡例の丁寧さもまず違う。

それから「帝国書院」の152ページですけど、ロシアとの国境の変遷も分かりやすく書かれているとか歴史とのつながり、そういうところもいいかなというふうに思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

私も「帝国書院」を支持します。装丁であるとか一般図、地形図、鳥瞰図、次第図とも優れており、資料としての情報量も評価をいたしました。

今回の採択に直接関係ありませんが、インターネットの地図検索サイトを私自身もよく利用するのですが、この検索サイトと比較すると、いずれの発行者の地図も平野部と山間部の配色が逆になっているのです。航空写真、衛星写真とも実際とは異なっていると思うのですね。何らかの規定があるのかもしれませんが、ネット環境で生活する生徒に不要な違和感を持たせるのではないかなという疑問を持ちました。

以上です。

○大江慶博教育長

6名とも「帝国書院」の支持をするということでしたので、「帝国書院」を採択することに御異議ございませんでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

では、異議なしと認めます。議案第49号、吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 地図の採択につきましては、「帝国書院」を採択することといたします。

続けて日程第7、議案第50号、「吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 数学の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○速水亮仁学校教育室主幹・指導主事

それでは、別表1ー7、令和7年度使用教科用図書中学校用数学の選定具申の発行者順に御説明いたしますので、よろしくお願いします。

初めに、「東京書籍」につきまして、御説明申し上げます。まず、教科書1年生、11ページを御覧ください。ゼロ章を設け、算数と数学の段差による不安を解消し、小・中の円滑な接続が図れるように工夫されています。また、既習とのつながりを意識した配列になっており、小学校から中学校の

学習に広げる学習展開になるよう工夫されています。

次に、教科書1年生、22ページを御覧ください。全学年とも「問」には、身に付けてほしい基本な問題に「ハートマーク」をつけ、生徒が目標を持って問題に取り組めるよう工夫されており、各問題には「チェックボックス」を設け、生徒が自己調整しながら学習できるよう工夫されています。

次に、全学年でQRコンテンツが非常に充実しており、ヒントと解答やシミュレーション、フラッシュカードなど、視覚的支援や学び直し等工夫されています。さらに、全学年で、「数学のまど」「数学×仕事」「数学の自由研究」を設けており、身近な題材を用いて、数学の有効性が実感できるようにしています。また、高校の学習につながる発展的な内容を取り上げ、数学の広がりが実感できるよう工夫されています。

最後に、教科書3年生、85ページを御覧ください。各学年に10以上の「深い学び」のページを設けており、身の回りで解決の必要感のある問題を提示し、「主体的な学び」を促すとともに、多様な考えを説明し伝え合う場面を設定し、さらに学びを深めることができるよう工夫されています。

続いて、「大日本図書」につきまして、御説明申し上げます。まず、教科書1年生と3年生の教科書を取り、文字を比べてください。発達段階に応じて文字の大きさを設定しており、1年は2年、3年よりも1段階大きい文字にし、小学校との接続に配慮しています。

次に、教科書3年生、77ページ「社会にリンク」や、教科書3年生242ページ「マスフル」を設け、興味・関心に応じて主体的に学習との関わりや学習を広げることができるよう工夫されています。

最後に、教科書3年生、238ページを御覧ください。全学年に「課題学習」を設け、既習事項を生かして考える課題を用いて、身の回りや数学の学習で疑問に思ったこと等、課題を選び、取り組めるようにしています。

続きまして、「学校図書」につきまして、御説明

申し上げます。まず、教科書1年生、24ページと26ページを御覧ください。24ページのパトロール隊や26ページのアニメーションのQRコンテンツで支援を行い、理解の状況に応じて理解の助けになったり、既習事項を確かめたりでき、主体的な学習の習慣が身につけられるよう工夫がされています。

次に、全学年で身近な話題を取り入れ、主体的に疑問を発見できるようにし、問題解に向けて道筋になるよう工夫されています。

最後に、教科書1年生、61ページから63ページを御覧ください。全学年で章末問題では、基本、応用、活用の3つに分類され、学習進度や学習到達度に応じて確認ができ、個々に応じて学力を伸ばせるよう工夫されています。

続いて、「教育出版」につきまして御説明申し上げます。まず全学年に、もどって確認や巻末、例えば教科書1年生、288ページを御覧ください。「学びのマップ」掲載し、既習事項とのつながりや、学んだことの振り返りのよりどころのページを随所に掲載していること、QRコンテンツで「まなびリンク」を設け、家庭学習や自学自習でも、無理なく日々の授業の振り返りを行うことができるように工夫されています。

次に、教科書1年生、116ページを御覧ください。基礎・基本をスモールステップで習得できるよう、例題と問の間に「たしかめ」を入れ、例に習って、問題を解けるため、自信を持ちながら学習に取り組むことができることや補充問題や章末、巻末において、個々に応じて取り組めるよう工夫されています。

最後に、教科書1年生、91ページを御覧ください。意図的に誤答例等を示し、どこが間違っているのかを考えさせる問題で、「みんなに説明しよう」を設け、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりして学習を高めていけるよう工夫されています。

続いて、「啓林館」につきまして御説明申し上げます。まず、全学年挿絵の量が多く、数学が使われている場面に学習内容と関連させて写真を掲載し、説明を補うための説明図や表を効果的

に使ったりし、学習の理解を助け、興味・関心を持って学習に取り組めるよう工夫されています。

次に、教科書1年生、52ページを御覧ください。自ら問題を発見・解決し、深める力を身につけられるようステップ方式で区切られ、与えられた問題をただ解くだけでなく、問題を解決し、解いた問題をさらに深める力を身につけられるよう工夫されています。

また、全学年、身の回りや他教科との連携、キャリア教育、消費者教育等を用いて、興味・関心がわく題材が豊富に掲載され、数学を生活に生かそうとする態度を養うことができるよう工夫されています。

最後に、全学年 QR コンテンツでは、問題解説や例・例題の解説動画が充実しており、自学で取り組むことや振り返りができるよう工夫されています。

続きまして、「数研出版」につきまして、御説明申し上げます。まず、全学年生徒キャラクターの対話や先生キャラクターを通して、基礎的な内容を学ぶことや学習内容を深く考えながら身につけることができるよう工夫されています。

次に、教科書3年生、11ページを御覧ください。全学年、章の前に関連する既習事項の振り返りを設定しています。また、教科書3年生、90ページから93ページを御覧ください。学習の中でTRY(トライ)を設け「ことからの説明」や「方法の説明」「理由の説明」と説明を求める課題や、教科書3年生、108ページを御覧ください。一番下の「Link探求」(QR コンテンツ)を用いて学んだ内容を発展させた課題に取り組むことができるよう工夫されています。

最後に、全学年、章末問題やチャレンジ編では、習熟度に応じて取り組むことができることや QR コンテンツの中で、全国の入試問題も多く取り扱っているため、自主的に取り組めるように工夫されています。

最後に、「日本文教出版」について御説明申し上げます。まず、全学年、本時の「めあて」や「Q」「例」「問」の意図を明確にし、学びやすく、基礎・基本が確実に身につくようになっておりま

す。また、教科書1年生、14ページから17ページ御覧ください。各小節は原則2ページ構成としており、1時間の授業で対応できるよう工夫されています。

次に、全学年、付録として切り離して使えるワークシートを巻末に用意されており、自分の考えを整理し、お互いに考えを伝え、考える力や説明する力を高められることができ、さらに学習の記録として、ノートに貼って残すことができるよう工夫されています。

最後に、教科書1年生、294ページを御覧ください。他の発行者と違い、「さくいん」に英語表記とともに、振り仮名も記載しており、外国にルーツがある生徒へ配慮もされています。

数学については、以上でございます。

○大江慶博教育長

説明が終わりました。

それでは、審議に入ります。御質問等がございましたらお願いします。

○福田知弘委員

小学校から中学校へ進学し、算数から数学に変わる中で取り組みやすいような工夫に特徴的なものはございますか。

○速水亮仁学校教育室主幹・指導主事

「東京書籍」では、算数が苦手だった生徒も取り組みやすいように、なじみがある題材をゼロ章として取り入れ、生徒たちが自分自身で考え、その考えを発表する場面を設定し、初めての数学の場面で、面白さを感じられるよう工夫しています。

また、「数研出版」では、章の前に、関連する小学校の既習事項の振り返りを設定している場面を設け、算数と数学へのつながりを記載し、スムーズに取り組めるように設定しています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかに御質問はありますか。

○飴野仁子委員

数学が苦手な生徒に対して手立てとして、特徴的なことがあったら教えてください。

○速水亮仁学校教育室主幹・指導主事

特に、「教育出版」1年生教科書56ページ、「東京書籍」1年生の教科書52ページを御覧ください。こちらは両方とも「四則の混じった計算」になります。「教育出版」では、例題と問の間に「たしかめ」を入れ、例にならって問題を解けるため、自信を持ちながら学習に取り組むことができるよう工夫しています。

それに対して「東京書籍」では、生徒がつまずきやすい問題に対して、例を小まめに配置しており、例を基に生徒が自ら学習に取り組めるような工夫がされていることや、QRコンテンツのフラッシュカードを掲載し、類題の問題で学び直しの機会を設けています。また、クイックチェックを設け、学習内容を細かな単位で確認でき、早期につまずきを解消できるようにしております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○和田光代委員

生徒が学習する上で、教育に関心を持つような工夫はどのようなものがありますか。

○速水亮仁学校教育室主幹・指導主事

まず「東京書籍」では、数学と身周り、数学と社会、数学と算数等のつながりを重視しており、身近な題材で用いて、生徒が興味・関心を持てるようにしています。

また、「啓林館」では、SDGsや他教科との連携、キャリア教育、環境の保全や防災の視点の題材を取り入れています。

「日本文教出版」では、SDGsについて数学を

通じて理解を深められるようにし、社会の課題への関心を高めるためのページを設けております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかにありますか。

○谷池雅子委員

生徒が主体になって考えるため、どのような工夫をされているか教えてください。

○速水亮仁学校教育室主幹・指導主事

特に「東京書籍」では、「深い学び」や「対話シート」で身近な題材を用いて、自分の考えを整理し、他の生徒の考えを聞く場面を設け、さらに学びを深めることができるように工夫されています。

また、「啓林館」では、全ての節の先頭に、「学びのとびら」を設定し、身の回りの題材等を取り上げて、自分の考え説明をすることや、話合いの場面を設定しています。さらに、「学びのとびら」には、QRコンテンツを配置し、数学的活動をサポートができるコンテンツを収録しています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかにありますか。

○安達友基子教育長職務代理者

少し発展的な学習について特徴的なところがあれば教えてください。

○速水亮仁学校教育室主幹・指導主事

まず「東京書籍」では、補充問題に星マークをつけ、少し難しい問題であることを示しています。

「数研出版」では、QRコンテンツに全国の入試問題を5年分、約4,000問あり、充実しております。

また「学校図書」では、章末問題が基本、応用、

活用の3つに分類され、学習進度や学習到達度に応じて確認ができ、個々に応じて学力を伸ばせるよう工夫されております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

では、質問も出尽くしたようですので、数学についての審議を終了します。

それでは、議案第50号、吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校 数学の採択について、各委員の御意見をお伺いします。

飴野委員からお願いします。

○飴野仁子委員

私は「数研出版」を推したいと思います。理由は、他者に比べるとページの的には一見するとあっさりしているようにも見えるのですが、数学的なセンスを磨くという点でありますとか、さらに受験の問題集なんかを作っておられて強いというところもありますけども、さらに発展して勉強をする上でも、教科書をしっかりと勉強しても受験にもちゃんと対応できるというような、そんなようなところに対しても「数研出版」がいいかなと思った次第です。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

続いて、谷池委員、お願いします。

○谷池雅子委員

本当に悩むところです。各出版社でそれなりに工夫がしてあって、どれもいいと思いましたので、私は今吹田市で使用している「教育出版」との比較において見てみました。そうしましたところ、「東京書籍」か「教育出版」かという比較ですけど、より算数が苦手なお子さんでもスモールステップで進めていくように細かく切って作っているように思いました。例えば、これは必ず解けてほしい

ハートマークとか、それとかQRコンテンツとかフラッシュカードとかいろいろな仕掛けをして、要するにそういう子を取り残されないような仕掛けをしてあり、さらに深い学びみたいな身の回りの解決、そういう細かい工夫をしているということで、「東京書籍」を私は推そうと思いました。

以上です。甲乙つけ難い難しい選択になります。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

では続いて、和田委員、お願いします。

○和田光代委員

私は「東京書籍」を推したいと思います。その理由としましては、小学校から中学校への進学時の取組、数学が苦手な生徒の手立て、生徒の興味・関心が持てるような工夫がされているということです。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

福田委員、お願いします。

○福田知弘委員

私も「東京書籍」を推したいと思います。4年前から大分数学の構成が変わったという理解をしているのですが、レイアウトを工夫して写真とか図、文字の大きさとか行間、その配慮があって分かりやすくなっているなというところとか、あとは学びのステップ、学びのベースとか補充の問題とか、難易度に応じて対応できることですか、あと先ほども谷池委員からもありましたけど、確実に身につけたい問題をハートで示したりとか、クイックチェックとか、そういうところがある。

それから社会とのつながり、「数学のまど」とか仕事とかいろいろと多面的に紹介していると思います。

ただ1つだけ、他社さんもそうですけど、例えば変数をレイアウトを変えるがために表現、見た目

が変わってしまっているのですね。これが手書き風に書いているように思えるのですが、例えばxとかaとかbとかがアピランスが変わると、違うことかなと勘違いしてしまう子もいるので、そこは教えながら読み解いていただく必要があるかなというふうに思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

安達職務代理者、お願いします。

○安達友基子教育長職務代理者

私も非常に甲乙つけ難く思ったのですが、最終的には「東京書籍」がいいかなというふうに思いました。理由としては、先ほど皆さんがおっしゃっているようなところでハートマークの問題があったりとか、発展的な問題も掲載がありましたし、数学とお仕事を絡めたコラムのようなものがあったというのも面白かったかなと感じました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

私も「東京書籍」を支持をします。中学校3年間で学びを積み上げていく教科においては、特に1年生の最初の授業がとても重要であり、小学校での既習内容を踏まえ、生徒に興味・関心を持たせながらつまづきを回避する、そういったような工夫が随所に見られるところを評価いたしました。

淡い青色や赤色を文字や式に重ねることで、要点の整理を促し、また関連するページや式を紙面右端にレイアウトするなど、豊富なQRコンテンツとともに自学自習を支える配慮が施されていると思います。

巻末の立体模型も種類が多く、文具が不要な点にも配慮がうかがえました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

数学については、「東京書籍」を支持する方が5名、「数研出版」を支持する方が1名ということでしたので、「東京書籍」を採択することに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

では、異議なしと認めます。議案第50号、吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 数学の採択につきましては、「東京書籍」を採択することといたします。

それでは、休憩を取ります。室内の時計で時間の関係もありますので、17時35分まで一旦休憩を取らせていただきます。よろしくお願いします。

(休 憩)

(再 開)

○大江慶博教育長

それでは、会議を再開いたします。

続いて、日程第8、議案第51号「吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 理科の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○小林重信教育センター主幹・指導主事

それでは、別表1ー8、令和7年度使用教科用図書中学校用 理科の選定具申を、発行者順に御説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

第1学年の教科書を中心に御説明をいたします。1社目は、「東京書籍」です。第1学年の84ページを御覧ください。「じっくり探究」として、ほぼ全ての単元に探究活動が設置されています。探究活動に取り組む箇所が単元の最後ではなく、学習の流れの中や章末で設定されていることが特徴的です。また、本文中に、漫画の読み物を活用していて、子供が理科に興味を持ちやすくなるような工夫もされています。さらには、第1学年72ページにもあるように、生徒のキャラクターの中に

は、車椅子の生徒や外国にルーツを持つ生徒が活動する様子も掲載されており、多様性や国際理解について配慮されています。

2社目は、「大日本図書」です。全ての単元の学びの前に、「これまでに学習したこと」と「これから学習すること」が見開きで大きく紹介されており、生徒が学びの見通しを持ちやすくなっています。また、全体を通して図や写真の配置や色使い、囲みのデザインが見やすく、読みやすいです。例えば、第1学年26ページを御覧ください。本文の中ほどに「問題をみつけよう」のマークがあり、次に27ページの一番下の部分に「結果から考えよう」のマークがあり、特に重視する項目は目立つデザインで示されています。

3社目は、「学校図書」です。実験がイラストではなく、写真を中心に載せてあることが特徴的です。第1学年116ページ、117ページを御覧ください。実際の写真なので、器具の配置やスケール感がイメージしやすくなっています。結果や考察も写真なので、子供たちの実験の実際の結果と比較することもできます。また、多くのページの上部にQRコードがあり、該当の教科書の紙面や科学ニュース、チャットボット等を活用することができます。

4社目は、「教育出版」です。第1学年4ページの折り込み部分をお開きください。このような形です。そのまま222ページを御覧ください。教科書を開いた状態でいつでも「探究の進め方」、全体のどの学習段階にいるのかを生徒自身が確認でき、学習前から学習後の自分の変化を記録しやすくなっています。また、教科書全体を通して、文字のサイズが大きく、重要用語や実験での注意事項等には、振り仮名や橙色での強調があり、読みやすいよう配慮がされています。

最後に、5社目、「啓林館」です。1つの実験に対して図や写真が多く取り上げられ、視覚的に理解しやすいようになっています。例えば、第1学年162ページ、163ページを御覧ください。ここには硫酸銅が水に溶けていく様子が見開きの写真で大きく示されており、次の164ページにはそのモデル図が示されており、実際の実験では、

捉えにくい部分、見えにくい部分を大きな写真や図を用いてイメージしやすくなっています。次に、巻末にある折り込み資料、「探Qシート」を御覧ください。これは全ての単元に設置されている「探Q実習」や「探Q実験」と対応しているものです。探究のゴールの成果物が1枚の見開きのシートで示されていることで、生徒にとって探究活動に取り組みやすくなっています。このシートは、デジタルデータもあるため、教師が内容を編集でき、生徒の実態に応じて探究をアレンジすることができます。

理科については、以上でございます。

○大江慶博教育長

説明が終わりました。

それでは、審議に入ります。御質問がございましたらお願いします。

○安達友基子教育長職務代理者

生徒が理科に興味・関心を持てるような工夫がされている発行者はどこですか、教えていただけますか。

○小林重信教育センター主幹・指導主事

学びの動機づけという観点で言うと、例えば「東京書籍は」、単元や章の初めに「スタート動画」があり、これから学習する内容に興味を持つような動画が設定されています。

「啓林館」は、全ての章の初めに「はてなスイッチ」があり、生徒が不思議を見つけるような現象や、興味が湧くような現象を動画で見ることができ、生徒の疑問から学習を始められるよう工夫されています。さらに、「啓林館」は、理科の有用性が分かるコラムも充実しています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○福田知弘委員

学習指導要領にも示されているとおり、理科の本質として科学的に探究する力を身につけることが大切だと思いますけども、生徒さん自身が探究活動に取り組みやすいような工夫をしているものはありますか。

○小林重信教育センター主幹・指導主事

どの発行者も探究活動には力を入れており、巻頭で学習方法を分かりやすく示しています。一方で、本文の中での取扱いは、各社それぞれ多様です。例えば、「啓林館」は、先ほど説明した巻末の「探Qシート」の裏面に「探Qラボ」もあり、生徒が仮説を立てるときや実験観察のとき、探究をサポートする項目が充実しています。章末にあるQRコードから利用できる「ふりかえりシート」は、「学習内容」だけでなく「学び方」の振り返りもすることができ、自分自身の変容に着目しやすいような工夫をしております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかにありますか。

○谷池雅子委員

QRコードはどの教科書も利用していると思いますが、おのおのの教科書のQRコードの内容について、何か特徴等がありましたら教えてください。

○小林重信教育センター主幹・指導主事

どの発行者も共通して動画教材・実験操作や安全配慮を説明した動画・学習している内容を補填するような動画が掲載されています。その他で特徴的なものは、例えば「東京書籍」は、SDGsの特設ページや、教科書の内容とNHK for Schoolの動画をつなぐ工夫、「大日本図書」では、教科書巻末にある科学館や博物館等の実際のWEBページを見ることがもできます。

「学校図書」は「ミライ教科書」として、全ての教科書紙面がWEBページとして掲載され、生徒

の興味に応じて別の学年のページにも遷移できます。また、チャットボットは、生徒の多様な質問に対応します。

「教育出版」の「まなびりんく」では、WEB図鑑を見たり、バッタや地形の3Dモデルを見たりすることもできます。

「啓林館」は、紙の教科書で学びを勧めながら、ICTの活用に適した場面に「ICTでトライ」のコーナーがあり、動かせる・編集できるオリジナルコンテンツが充実しています。例えば、生徒の端末についているマイク機能を利用して、生徒が出した声や音を端末で拾って、その音の波形が見られるオシロスコープや、電気の回路図を画面上で作る回路図カード等があり、生徒自身が試行錯誤を行いやすいようなコンテンツがあります。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかにありますか。

○和田光代委員

QRコードがどの発行者にも掲載されていますが、どの程度活用されているかが大切だと思います。現在吹田市の理科の授業でQRコードにアクセスし活用する場面はありますか。

○小林重信教育センター主幹・指導主事

活用場面はございます。現場の先生方からは、「学びを定着させたり、広げたり、深めたりする際に授業で取り扱っている」との声がありました。また、今回の教科書の改訂に伴い「QRコードがこれだけ目立つようになったことで、授業中だけでなく、家庭学習でも生徒自らが使い始めるようになると思う。そのため、生徒自身が試行錯誤できるようなコンテンツは使いやすいのではないか」といった声もありました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

ほかにありますか。

○飴野仁子委員

自然環境や環境問題に関する掲載で特徴的なものがあれば御紹介ください。

○小林重信教育センター主幹・指導主事

例えば「学校図書」は、「持続可能な開発目標」SDGsについて、章の扉絵に内容に関連した17の目標について記載され、学びの始まりにSDGsと理科の関わりを意識できるように工夫されています。

「教育出版は」、コラム「ハローサイエンス」の中で、関連するSDGsのアイコンがついており、読み物の内容と関連づけて、SDGsへの理解が深まるような工夫がされています。

「啓林館」は、生徒自らがSDGsの諸課題へ向き合うために、住み続けられるまちづくりを考える「防災・減災ラボ」や、科学技術への興味を高めるために、全ての単元の最後に「ひろがる世界」として、最新の科学の話題やSTEAM教育に関連した話題も紹介しております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかにありませんか。

私からも1点、理科の実験であるとか観察、それを行う上で安全への配慮というのは非常に重要だと思うのです。事故の防止も含めてそういったような観点で、各発行者でどのような配慮、あるいは記述があるか、特徴があるものがあれば教えてください。

○小林重信教育センター主幹・指導主事

例えば、「東京書籍」と「教育出版」は、注意事項を示すマークが記載されており、「大日本図書」は、黄色の枠に注意事項を書いたり、「学校図書」は赤字で書いたりすることで生徒の目を引くように強調しています。

また「啓林館も」、「東京書籍」や「教育出版」と同様にマークで注意を促すとともに、特に事故

が起りやすい実験には、実験のステップの流れの中で、安全を確認するステップを設けており、安全に十分に配慮されています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

分かりました。

ほかに御質問はありますか。

では、質問も出尽くしたようですので、理科についての審議を終了いたします。

議案第51号、吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 理科の採択について、各委員の御意見をお伺いいたします。

谷池委員からお願いします。

○谷池雅子委員

どの教科書も工夫を凝らしてまして、漫画が多い教科書は子供もなじみがある、フレンドリーかなと思ってみたり、逆に写真、それとデジタル教科書、ミライ教科書ですか、チャットボットみたいな新たな取組をしている教科書もあり、非常に面白くて目移りして、難しいですけど、やはり「啓林館」を推します。なぜかといいますと、やはり吹田市で使われてきている実績があるということが一番、実際に現場の先生方もそれになじんでいらっしやって困っておられないこと、それだけではなくて、やはり見やすい、ぱっと見て見やすい紙面であったり、探究シートとかICTとQRコードですぐにつながったり、そういう細かい工夫をきっちりとされているというところで、「啓林館」を推します。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

では続いて、和田委員、お願いします。

○和田光代委員

私も「啓林館」を推します。理由としましては、谷池委員と同じように、紙面が非常に写真とイラスト、文章とのバランスがよく見やすいということが1つあります。

それと探究活動の取組が充実しているということが1つです。

以上です。

○大江慶博教育長

では福田委員、お願いします。

○福田知弘委員

私も「啓林館」を推したいと思います。まず教科書の初めに教科書の流れと探究の取組方についての説明があるということ、それから他教科との関連、数学とかは一番密接だと思いますけども、解説があたりとか、あとは探究シートの活用によって課題、それから仮説、計画、結果、考察、こういったステップを順に進めていくことで確認しながら学べるというところ、もちろん安全に注意とか、身の回りの疑問とか、こういったところは実は各社さん同じようなところがあるのですけども、最初に言ったところを重視しまして、「啓林館」を推したいと思います。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

続いて、安達職務代理者、お願いします。

○安達友基子教育長職務代理者

私も「啓林館」がいいと思いました。皆さんと同じですが、写真や図の質や配置についても見やすいなというのがあったのと、探究シートも非常にいいなと思って、これは使いやすいだろうなというふうに感じました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

飴野委員、お願いします。

○飴野仁子委員

各社、理科に興味を持ってもらおうという工夫というか努力がとてもあって、そこがいいなと思い

ました。結論からすると、私も「啓林館」を推したいと思います。いろいろな委員の方からも今御意見があったのですけど、プラス、コラムが充実しているなどと思ひまして、科学コラムの中の例えば、理科とは一見すると直接関係ないように見えるお料理ラボとか、そういったものなんかも社会に出てからとか、ものの考え方だったり、理数科系とか文科系とか、世の中の関わりについても学べるし、このお料理ラボはなかなか面白いなど、それが教科書の中の色合いとか意外性にもなっているのかなという、科学実験だけじゃなくてというようなことも思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

私も「啓林館」を支持したいと思います。自然の事物、現象を取り上げるに当たって、鮮明な写真画像や詳細なイラスト、これらが例えば角度であるとか、大きさであるとか、そういったことにもこだわりながら随所に盛り込まれている。生徒の探究心を高めるに十分な内容であることを評価しました。

一例を挙げると、花のつくりのところでは、各発行者ともアブラナを取り上げているのですが、図版や説明の際、非常に大きくて、ほかにも見開き2ページを使用した写真画像が単元の初めに設定されているのですけど、レイアウトに統一感をもたせることで学習内容を容易に見通すことができる、そういった工夫をされています。生徒が進んで関わることを促しているというふうに考えました。

以上です。

○大江慶博教育長

では、理科につきましては、皆さん「啓林館」を支持されましたので、「啓林館」を採択することに御異議ございませんか。

○大江慶博教育長

では、異議なしと認めます。議案第51号、吹田市令和7年度使用教科用図書 中学校用 理科の採択につきましては、「啓林館」を採択することといたします。

以上で、本日の議事日程は終了いたしました。

次の会議は、7月30日の14時に再開いたしますので、御参集願います。

これをもちまして、本日の会議を散会いたします。

お疲れさまでした。

[「異議なし」の声あり]